

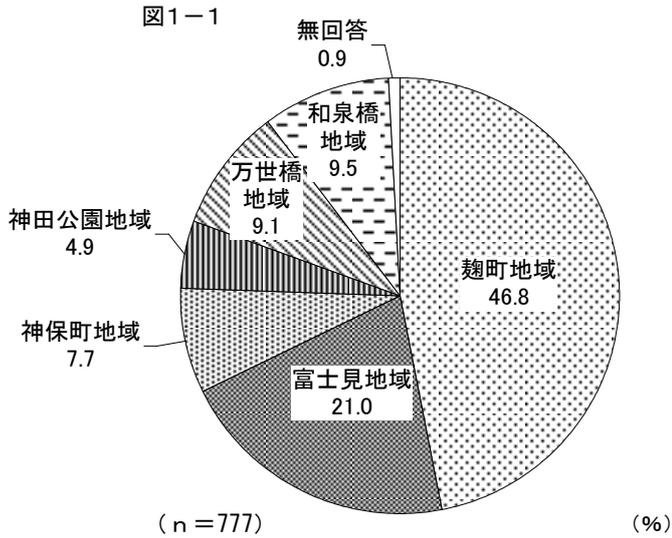
第3章 小学生の調査結果

1 家族の状況

(1) 居住地域

「麴町地域」が46.8%

居住地域は、「麴町地域」が46.8%で最も多く、次いで「富士見地域」が21.0%、「和泉橋地域」が9.5%であった。(図1-1)



(2) 子どもの学年

「1年生」が23.6%

子どもの学年は、「1年生」が23.6%で最も多く、次いで「2年生」が18.8%、「3年生」が16.1%であった。(図1-2)

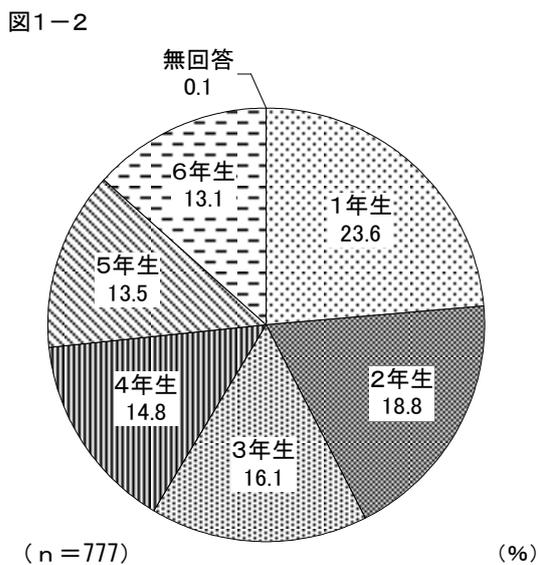
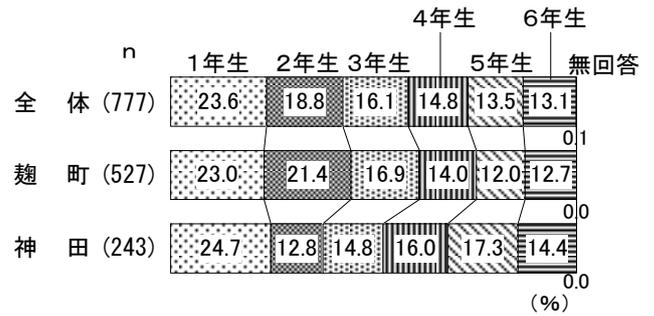


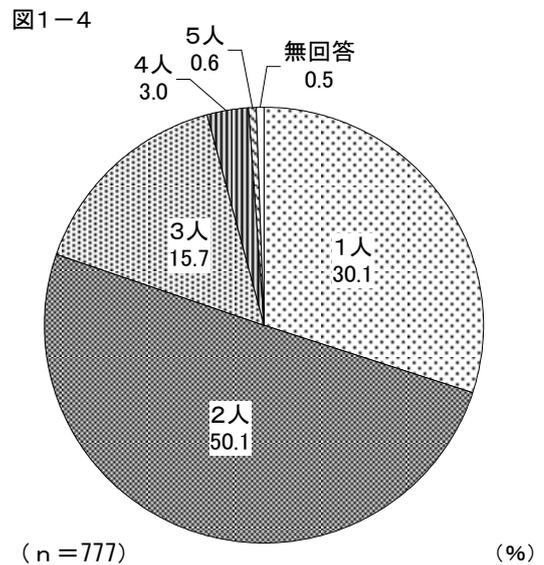
図1-3 子どもの年齢—地域別



(3) 世帯における子どもの人数

「2人」が50.1%

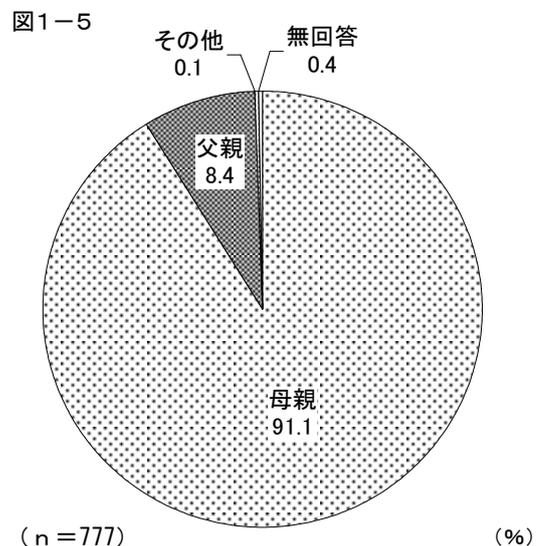
子どもの人数は、「2人」が50.1%で最も多く、次いで「1人」が30.1%、「3人」が15.7%であった。(図1-4)



(4) 調査票の記入者

「母親」が91.1%

調査票の記入者は、「母親」が91.1%、「父親」は8.4%であった。(図1-5)

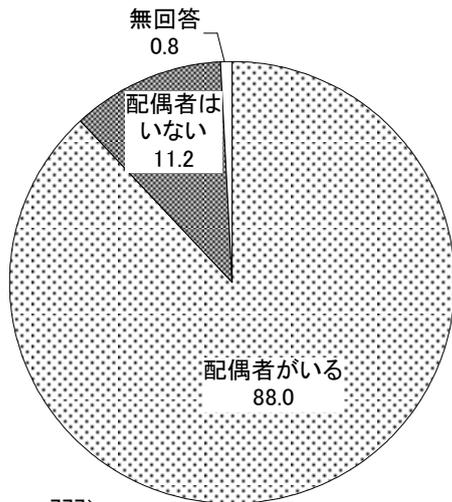


(5) 配偶者の有無

「配偶者がいる」が88.0%

配偶者の有無は、「配偶者がいる」が88.0%、「配偶者がいない」は11.2%であった。(図1-6)

図1-6



(n=777)

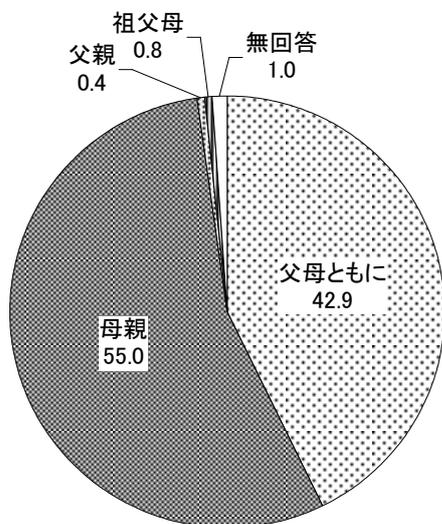
(%)

(6) 子育てを主に行っている人

「母親」が55.0%

子育てを主に行っている人は、「母親」が55.0%で最も多くなっている。「父母ともに」は42.9%であった。(図1-7)

図1-7



(n=777)

(%)

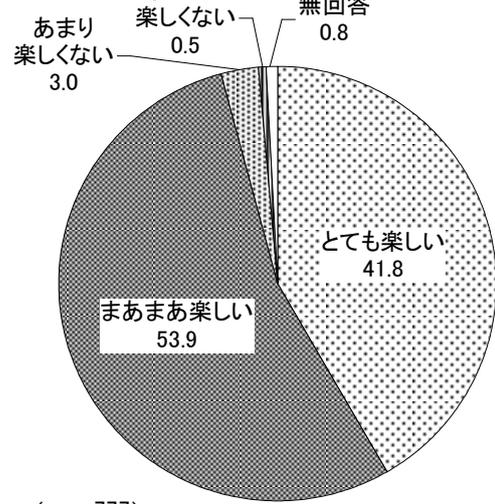
2 子育ての状況

(1) 子育てが楽しいと思うか

『楽しい』が95.7%

子育てが楽しいと思うかについては、「とても楽しい」(41.8%)と「まあまあ楽しい」(53.9%)を合わせた『楽しい』が95.7%であった。「あまり楽しくない」(3.0%)、「まったく楽しくない」(0.5%)はわずかである。(図2-1)

図2-1



(n=777)

(%)

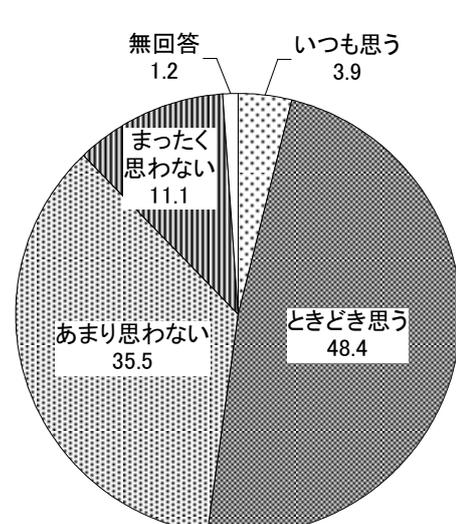
(2) 子育てが辛いと思うか

「ときどき思う」が48.4%

子育てが辛いと思うかについては、「ときどき思う」が48.4%で最も多くなっている。「あまり思わない」は35.5%、「まったく思わない」は11.1%であった。(図2-2)

(図2-2)

図2-2



(n=777)

(%)

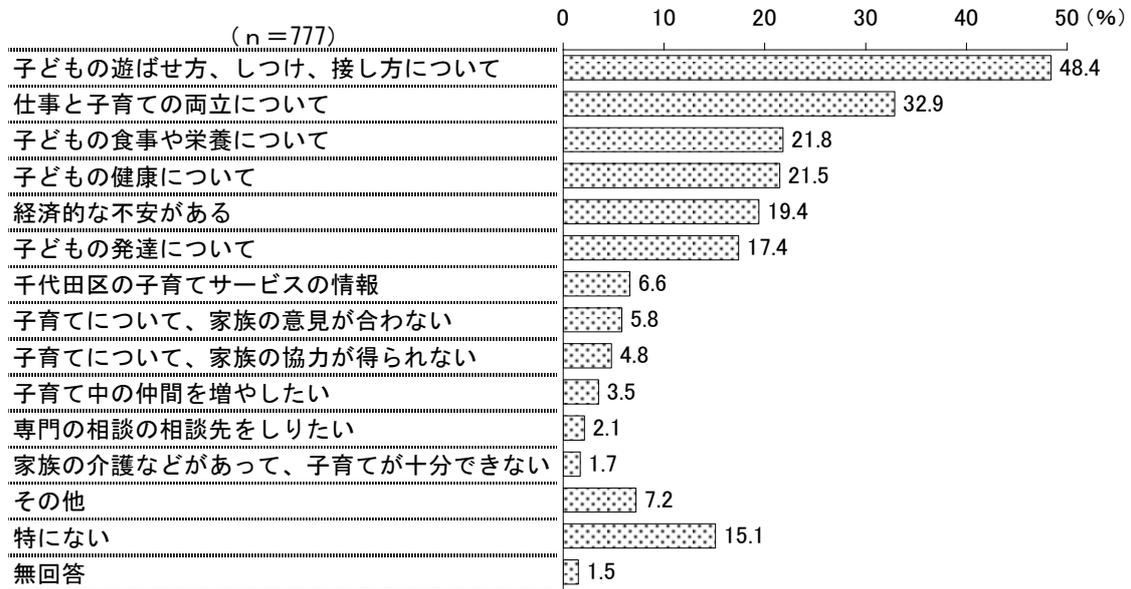
(3) 子育てについて気になること

「子どもの遊ばせ方、しつけ、接し方について」が48.4%

子育てについて気になることについては、「子どもの遊ばせ方、しつけ、接し方について」が48.4%で最も多く、次いで「仕事と子育ての両立について」が32.9%、「子どもの食事や栄養について」が21.8%などの順であった。

(図2-3)

図2-3



学年別では、「子どもの遊ばせ方、しつけ、接し方について」が最も高いのは1年生60.7%で、学年が上がるに従い、減少する傾向であった。「仕事と子育ての両立について」はどの学年でも3割前後であった。(表2-1)

表2-1 子育てについて気になること—学年別

上段：件数、下段：%

	n	子どもの遊ばせ方、しつけ	仕事と子育ての両立について	子どもの食事や栄養について	子どもの健康について	経済的な不安がある	子どもの発達について	千代田区の子育てサービスの情報	意見が合わない、家族の	協力が得られない、家族の	子育て中の仲間を増やしたい	専門の相談の相談先をしりたい	家族の介護などがあつて	その他	特になし	無回答
		割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)
全体	777	48.4	32.9	21.8	21.5	19.4	17.4	6.6	5.8	4.8	3.5	2.1	1.7	7.2	15.1	1.5
1年生	183	60.7	35.0	23.5	22.4	19.7	22.4	9.3	3.3	5.5	4.4	2.7	0.5	7.7	10.4	0.5
2年生	146	54.8	35.6	21.2	21.2	14.4	17.1	5.5	6.2	2.1	2.7	1.4	0.7	4.1	15.8	2.1
3年生	125	44.0	29.6	18.4	21.6	15.2	18.4	4.0	5.6	7.2	2.4	0.8	-	7.2	20.0	0.8
4年生	115	41.7	35.7	22.6	20.9	20.0	13.0	6.1	8.7	3.5	-	2.6	-	9.6	12.2	0.9
5年生	105	43.8	33.3	21.0	19.0	27.6	20.0	6.7	8.6	4.8	4.8	2.9	7.6	6.7	17.1	-
6年生	102	34.3	25.5	22.5	22.5	22.5	8.8	5.9	3.9	5.9	5.9	2.0	2.9	8.8	17.6	5.9

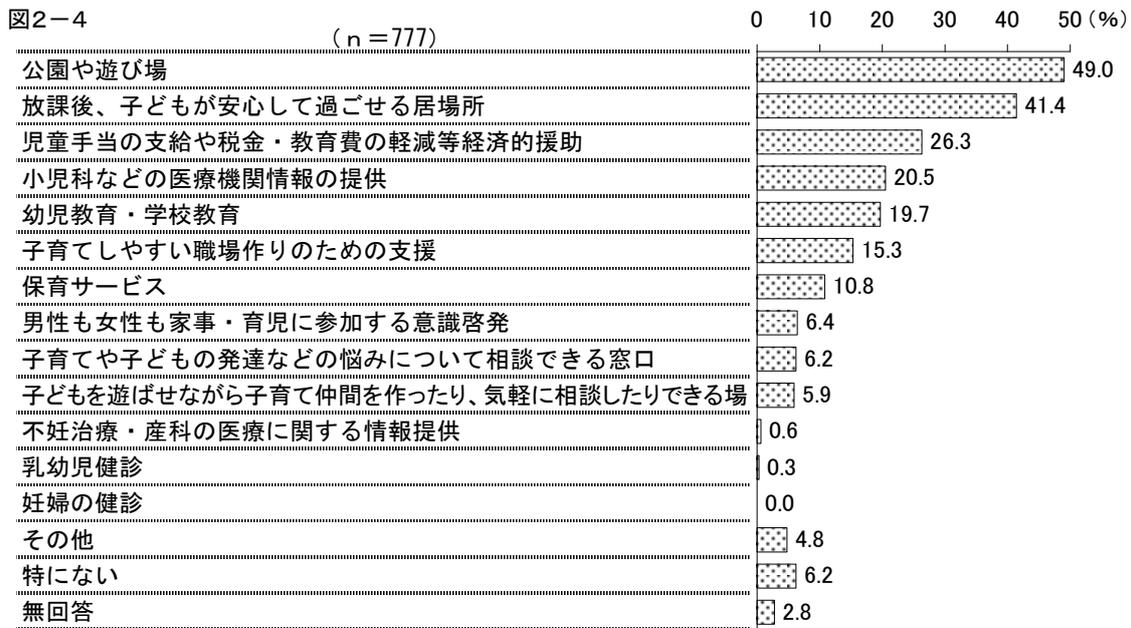
(4) 充実してほしい千代田区の子育て支援のサービス

1位は「公園や遊び場」が49.0%、2位は「放課後、子どもが安心して過ごせる居場所」が41.4%、

3位は「児童手当の支給や税金・教育費の軽減等経済的援助」が26.3%

充実してほしい千代田区の子育て支援のサービスについては、「公園や遊び場」が49.0%で最も多く、次いで「放課後、子どもが安心して過ごせる居場所」が41.4%、「児童手当の支給や税金・教育費の軽減等経済的援助」が26.3%などの順であった。(図2-4)

問10 あなたは、どんな子育てサービスを必要としていますか。(〇は3つまで)



学年別では、「放課後、子どもが安心して過ごせる居場所」は1年生50.8%が最も高く、学年があがると減少する。また、「児童手当の支給や税金・教育費の軽減等経済的援助」は6年生35.3%、5年生35.2%が多かった。

(表2-2)

表2-2 充実してほしい千代田区の子育て支援のサービス—学年別

上段：件数、下段：%

	n	公園や遊び場	放課後、子どもが安心して過ごせる居場所	児童手当の支給や税金・教育費の軽減等経済的援助	小児科などの医療機関情報の提供	幼児教育・学校教育	子育てしやすい職場作りのための支援	保育サービス	男性も女性も家事・育児に参加する意識啓発	子育てや子どもの発達などの悩みについて相談できる窓口	子どもを遊ばせながら子育て仲間を作ったり、気軽に相談したりできる場	不妊治療・産科の医療に関する情報提供	乳幼児健診	妊婦の健診	その他	特にない	無回答
全体	777	381	322	204	159	153	119	84	50	48	46	5	2	-	37	48	22
	100.0	49.0	41.4	26.3	20.5	19.7	15.3	10.8	6.4	6.2	5.9	0.6	0.3	-	4.8	6.2	2.8
1年生	183	94	93	44	35	47	24	28	10	17	18	2	-	-	11	6	3
	100.0	51.4	50.8	24.0	19.1	25.7	13.1	15.3	5.5	9.3	9.8	1.1	-	-	6.0	3.3	1.6
2年生	146	86	70	30	40	29	25	17	7	6	6	1	1	-	9	4	4
	100.0	58.9	47.9	20.5	27.4	19.9	17.1	11.6	4.8	4.1	4.1	0.7	0.7	-	6.2	2.7	2.7
3年生	125	67	50	30	19	20	21	15	7	8	8	1	1	-	3	10	4
	100.0	53.6	40.0	24.0	15.2	16.0	16.8	12.0	5.6	6.4	6.4	0.8	0.8	-	2.4	8.0	3.2
4年生	115	56	51	26	23	24	19	12	11	3	4	-	-	-	3	6	5
	100.0	48.7	44.3	22.6	20.0	20.9	16.5	10.4	9.6	2.6	3.5	-	-	-	2.6	5.2	4.3
5年生	105	53	33	37	20	13	17	9	8	5	3	-	-	-	5	7	3
	100.0	50.5	31.4	35.2	19.0	12.4	16.2	8.6	7.6	4.8	2.9	-	-	-	4.8	6.7	2.9
6年生	102	24	25	36	22	19	13	3	7	9	7	1	-	-	6	15	3
	100.0	23.5	24.5	35.3	21.6	18.6	12.7	2.9	6.9	8.8	6.9	1.0	-	-	5.9	14.7	2.9

母親の就労状況別では、「保育サービス」はフルタイム（休業中）54.5%が多かった。「放課後、子どもが安心して過ごせる居場所」はフルタイム（休業中）54.5%、フルタイム51.7%が多かった。（表2-3）

表2-3 充実してほしい千代田区の子育て支援のサービス—母親の就労状況別

上段：件数、下段：%

	n	公園や遊び場	放課後、子どもが安心して過ごせる居場所	児童手当の支給や税金・教育費の軽減等経済的援助	小児科などの医療機関情報提供	幼児教育・学校教育	子育てしやすい職場作り	保育サービス	男性も女性も家事・育児に参加する意識啓発	子どもの悩みについての相談できる窓口	子育てや子どもの発達に関する悩みについての相談できる場	子どもを遊ばせながら子育て仲間を作ったりできる場	不妊治療・産科の医療に関する情報提供	乳幼児健診	妊婦の健診	その他	特になし	無回答
全体	777	381	322	204	159	153	119	84	50	48	46	5	2	-	37	48	22	
	100.0	49.0	41.4	26.3	20.5	19.7	15.3	10.8	6.4	6.2	5.9	0.6	0.3	-	4.8	6.2	2.8	
フルタイム	263	130	136	79	45	55	57	38	18	18	12	-	-	-	17	10	6	
	100.0	49.4	51.7	30.0	17.1	20.9	21.7	14.4	6.8	6.8	4.6	-	-	-	6.5	3.8	2.3	
フルタイム（休業中）	11	7	6	1	1	1	-	6	-	2	4	-	1	-	2	-	-	
	100.0	63.6	54.5	9.1	9.1	9.1	-	54.5	-	18.2	36.4	-	9.1	-	18.2	-	-	
パート・アルバイト	185	97	76	64	27	37	26	14	15	10	8	5	1	-	6	11	5	
	100.0	52.4	41.1	34.6	14.6	20.0	14.1	7.6	8.1	5.4	4.3	2.7	0.5	-	3.2	5.9	2.7	
パート・アルバイト（休業中）	9	2	1	1	2	1	2	-	1	-	1	-	-	-	1	2	1	
	100.0	22.2	11.1	11.1	22.2	11.1	22.2	-	11.1	-	11.1	-	-	-	11.1	22.2	11.1	
現在就労していない	245	111	84	46	73	50	27	24	12	14	18	-	-	-	7	21	7	
	100.0	45.3	34.3	18.8	29.8	20.4	11.0	9.8	4.9	5.7	7.3	-	-	-	2.9	8.6	2.9	
これまで就労したことがない	44	24	12	10	10	7	3	2	2	3	2	-	-	-	2	2	2	
	100.0	54.5	27.3	22.7	22.7	15.9	6.8	4.5	4.5	6.8	4.5	-	-	-	4.5	4.5	4.5	

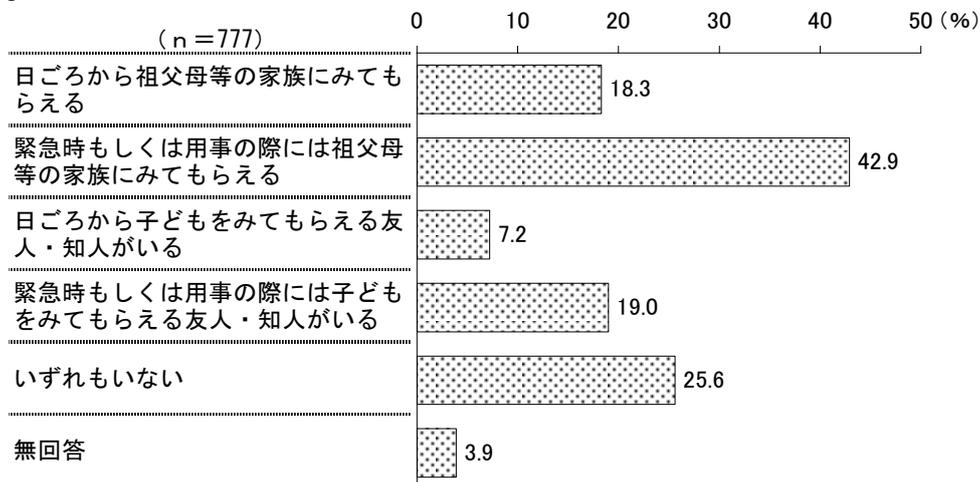
(5) 日ごろ子どもをみてもらえる家族・友人の有無

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の家族にみてもらえる」が42.9%

日ごろ子どもをみてもらえる家族・友人の有無については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の家族にみてもらえる」が42.9%で最も多く、次いで「いずれもない」が25.6%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が19.0%などの順であった。（図2-5）

問11 日ごろ、お子さんをみてもらえる家族・知人はいますか。（○はいくつでも）

図2-5



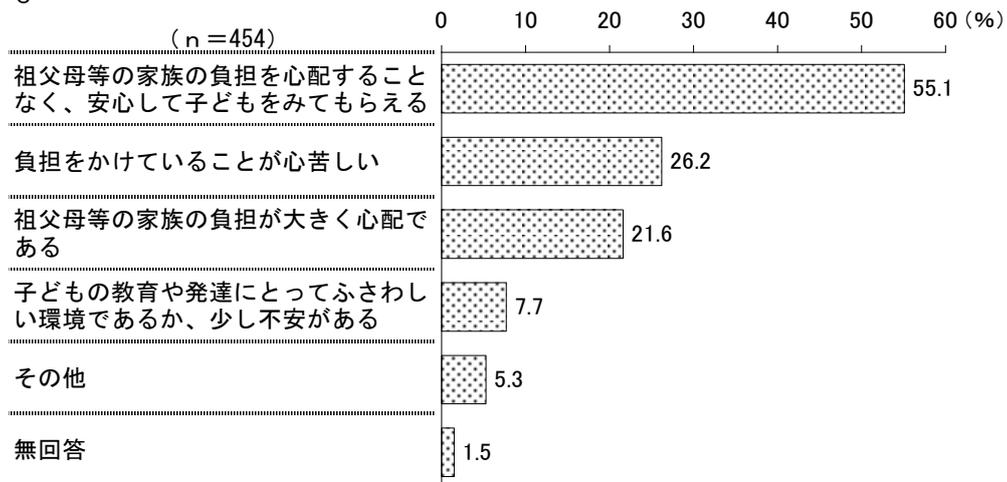
(5-1) 子どもを家族にみてもらっている状況

「祖父母等の家族の負担を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が55.1%

子どもを家族にみてもらっている状況については、「祖父母等の家族の負担を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が55.1%で最も多く、次いで「負担をかけていることが心苦しい」が26.2%、「祖父母等の家族の負担が大きく心配である」が21.6%などの順であった。(図2-6)

問11-1 問11で「日ごろから祖父母等の家族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の家族にみてもらえる」に○をつけた方、お子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(○はいくつでも)

図2-6



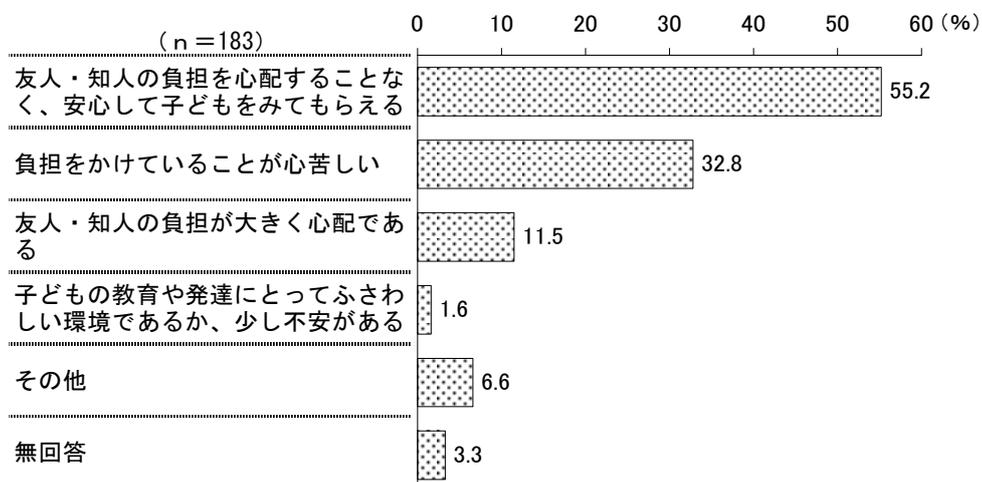
(5-2) 友人・知人に子どもをみてもらっている状況

「友人・知人の負担を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が55.2%

友人・知人に家族をみてもらっている状況については、「友人・知人の負担を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が55.2%で最も多く、次いで「負担をかけていることが心苦しい」が32.8%、「友人・知人の負担が大きく心配である」が11.5%などの順であった。(図2-7)

問11-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(○はいくつでも)

図2-7



(6) 子育てについて気軽に相談できる相手

子育てについて気軽に相談できる相手については、「いる／ある」が86.0%、「ない」は13.0%であった。

(図2-8)

日ごろ子どもをみてもらえる人別では、日ごろ子どもをみてもらえる人がある人に比べて、いずれもない人では、「ない」31.2%が多かった。(図2-9)

問12 子育てについて、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

図2-8

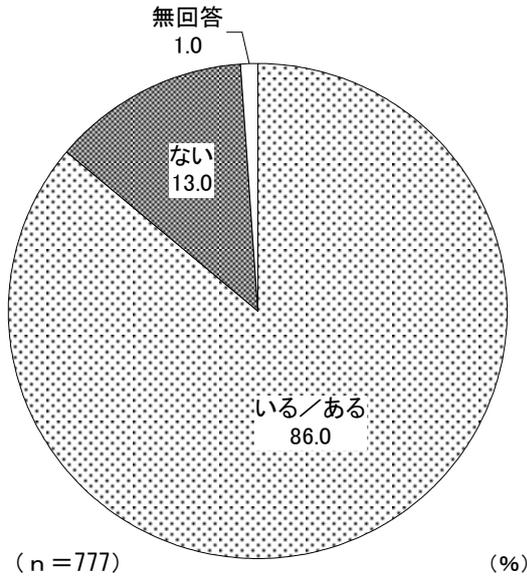
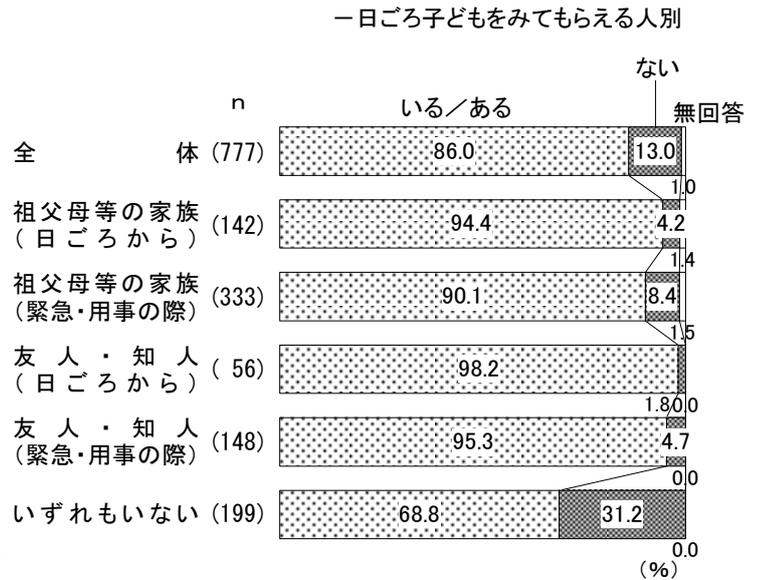


図2-9 子育てについて気軽に相談できる相手



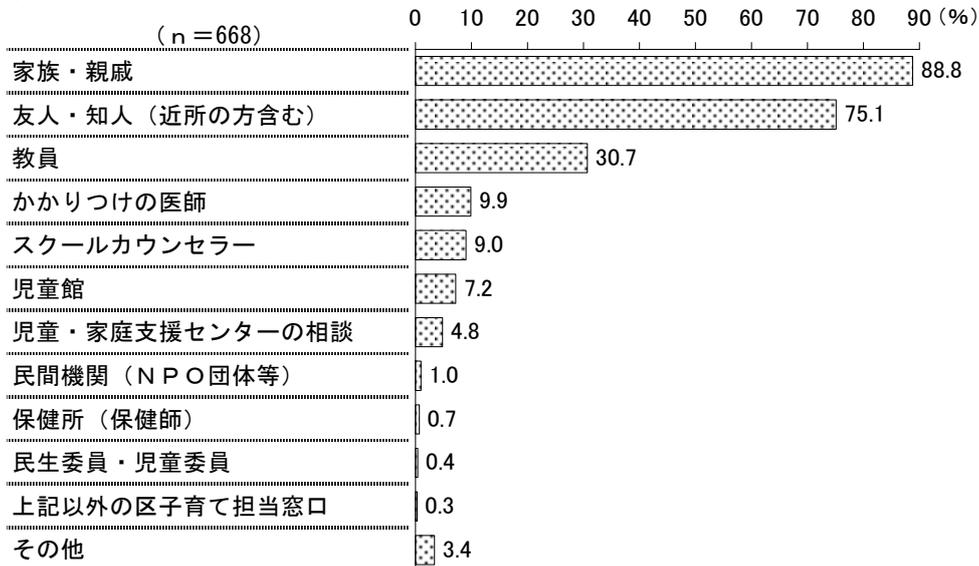
(6-1) 子育ての相談先

「家族・親戚」が88.8%

子育ての相談先については、「家族・親戚」が88.8%で最も多く、次いで「友人・知人 (近所の方含む)」が75.1%、「教員」が30.7%などの順であった。(図2-10)

問12-1 問12で「いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。気軽先は、誰(どこ)ですか。(○はいくつでも)

図2-10



母親の就労状況別では、「家族・親戚」、「友人・知人（近所の方含む）」がいずれも多かった。それ以外では、フルタイムでは、「教員」36.5%に次いで「児童館」14.0%が多かった。フルタイム（休業中）でも、「教員」が45.5%と高かった。また、「民間機関（NPO団体等）」は、フルタイム3.2%のみであった。（表2-4）

表2-4 子育ての相談先—母親の就労状況別

上段：件数、下段：%

	n	家族・親戚	友人・知人（近所の方含む）	教員	かかりつけの医師	スクールカウンセラー	児童館	児童・家庭支援センターの相談	民間機関（NPO団体等）	保健所（保健師）	民生委員・児童委員	左記以外の区子育て担当窓口	その他
全体	668	593	502	205	66	60	48	32	7	5	3	2	23
	100.0	88.8	75.1	30.7	9.9	9.0	7.2	4.8	1.0	0.7	0.4	0.3	3.4
フルタイム	222	191	167	81	26	12	31	14	7	2	1	1	11
	100.0	86.0	75.2	36.5	11.7	5.4	14.0	6.3	3.2	0.9	0.5	0.5	5.0
フルタイム（休業中）	11	11	8	5	2	3	1	2	-	-	-	-	1
	100.0	100.0	72.7	45.5	18.2	27.3	9.1	18.2	-	-	-	-	9.1
パート・アルバイト	156	139	116	46	14	9	8	7	-	1	1	-	4
	100.0	89.1	74.4	29.5	9.0	5.8	5.1	4.5	-	0.6	0.6	-	2.6
パート・アルバイト（休業中）	7	6	4	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	85.7	57.1	14.3	14.3	14.3	-	-	-	-	-	-	-
現在就労していない	219	200	166	58	19	30	7	9	-	2	1	1	5
	100.0	91.3	75.8	26.5	8.7	13.7	3.2	4.1	-	0.9	0.5	0.5	2.3
これまで就労したことがない	39	34	32	14	4	4	1	-	-	-	-	-	2
	100.0	87.2	82.1	35.9	10.3	10.3	2.6	-	-	-	-	-	5.1

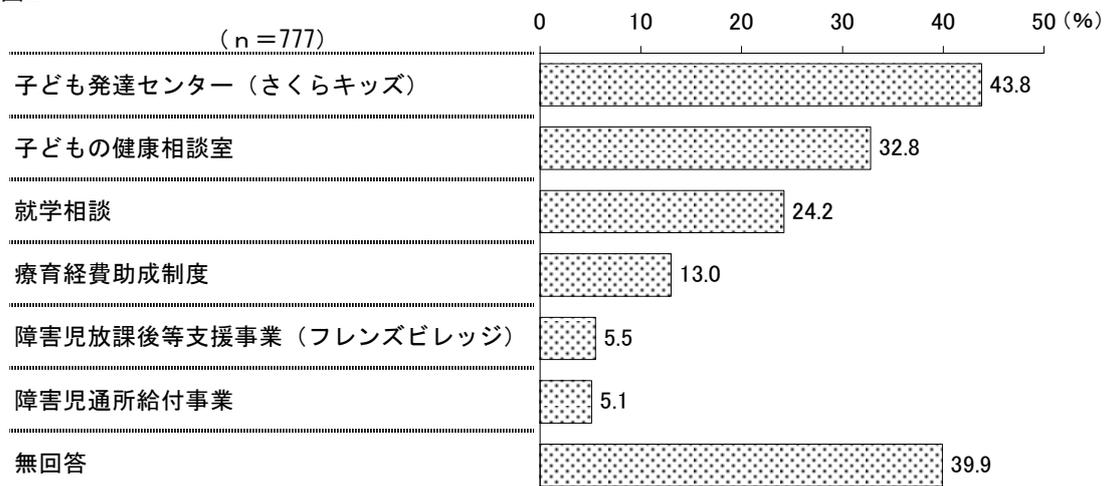
（7）配慮が必要な子どもへの区の支援事業の認知度

「子ども発達センター（さくらキッズ）」が43.8%

配慮が必要な子どもへの区の支援事業の認知度については、「子ども発達センター（さくらキッズ）」が43.8%で最も多く、次いで「子どもの健康相談室」が32.8%、「就学相談」が24.2%などの順であった。（図2-11）

問13 千代田区では、小学校特別支援学級、通級学級のほかにも、配慮が必要なお子さんを対象に、下記の支援事業を行っています。知っているものに○をつけてください。（○はいくつでも）

図2-11



3 保護者の就労状況

(1) 母親・父親の就労状況

フルタイムで就労している母親は35.2%

母親・父親の就労状況については、母親では、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が33.8%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が1.4%となっており、フルタイムで就労している母親は合わせて35.2%であった。「以前は就労していたが、現在は就労していない」は31.5%で、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」は23.8%であった。

父親では、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が70.1%と多くなっており、それ以外はいずれもわずかである。(図3-1)

問14 保護者の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。(母親・父親ごとに回答)

図3-1

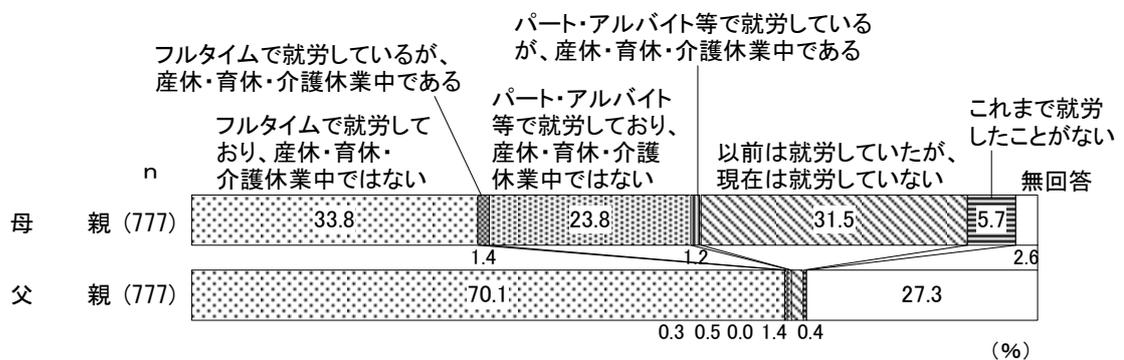
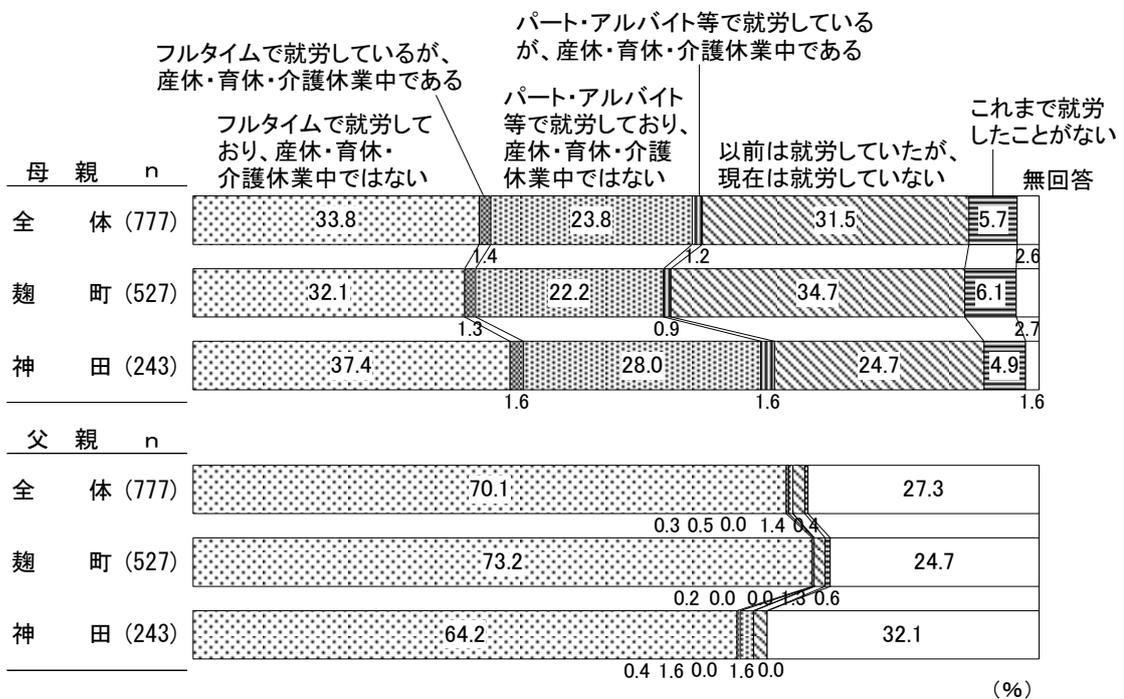


図3-2 母親・父親の就労状況—地区別



(1-1) 1週あたりの就労日数、1日あたりの就労時間

就労日数は「週5日」が最も多く母親で60.3%、父親で66.8%

就労時間は母親で「1日8時間～9時間未満」が29.3%、父親で「1日10時間～11時間未満」が25.0%

就労日数については、「週5日」が母親で60.3%、父親で66.8%と多くなっている。「週1日」から「週4日」の合計は母親で27.5%となっており、「週6日」は父親で26.3%であった。(図3-3)

就労時間については、母親では、「1日8時間～9時間未満」が29.3%と多く、父親では、「1日10時間～11時間未満」が25.0%と多くなっている。(図3-4)

問14-1 「就労している」に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(母親・父親ごとに回答)

図3-3 1週あたりの就労日数

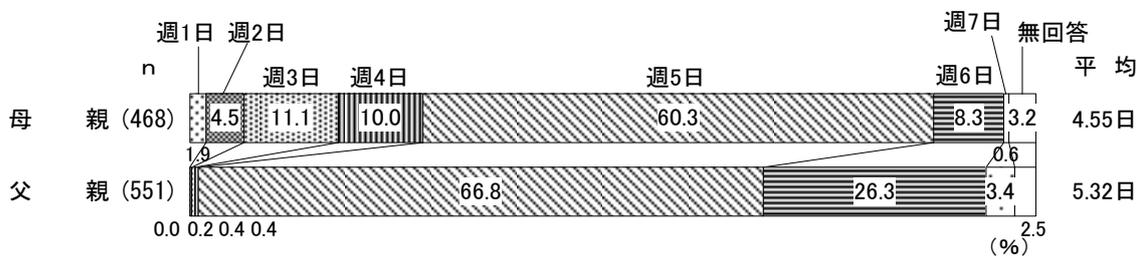
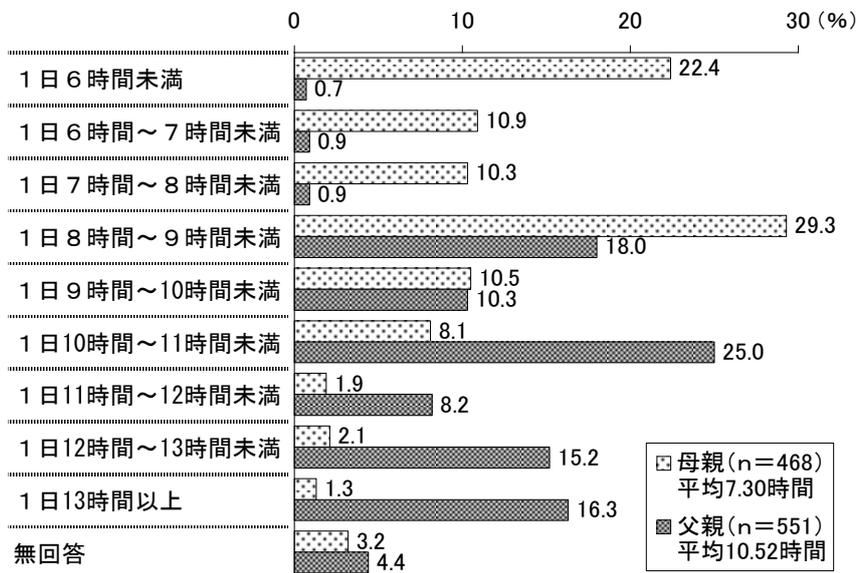


図3-4 1日あたりの就労時間



(1-2) 家を出る時間と帰宅時間

家を出る時間は「8時～8時14分」が母親で16.2%、父親で18.3%

帰宅時間は母親で「19時～19時29分」が13.2%、父親で「23時～翌8時59分」が15.6%

家を出る時間については、「8時～8時14分」が母親で16.2%、父親で18.3%、「8時30分～8時44分」が母親で14.3%、父親で13.1%と多くなっている。(図3-5)

帰宅時間については、母親では、「19時～19時29分」が13.2%、「18時～18時29分」が12.8%と多く、父親では、「23時～翌8時59分」が15.6%、「20時～20時29分」が13.4%と多くなっている。(図3-6)

問14-1 「就労している」に○をつけた方にうかがいます。家を出る時間、帰宅する時間をお書きください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(母親・父親ごとに回答)

図3-5 家を出る時間

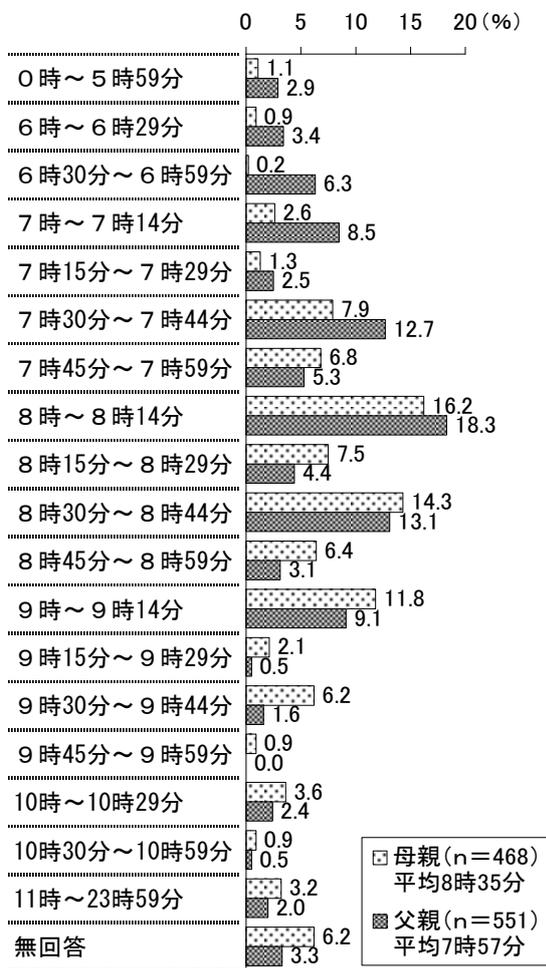
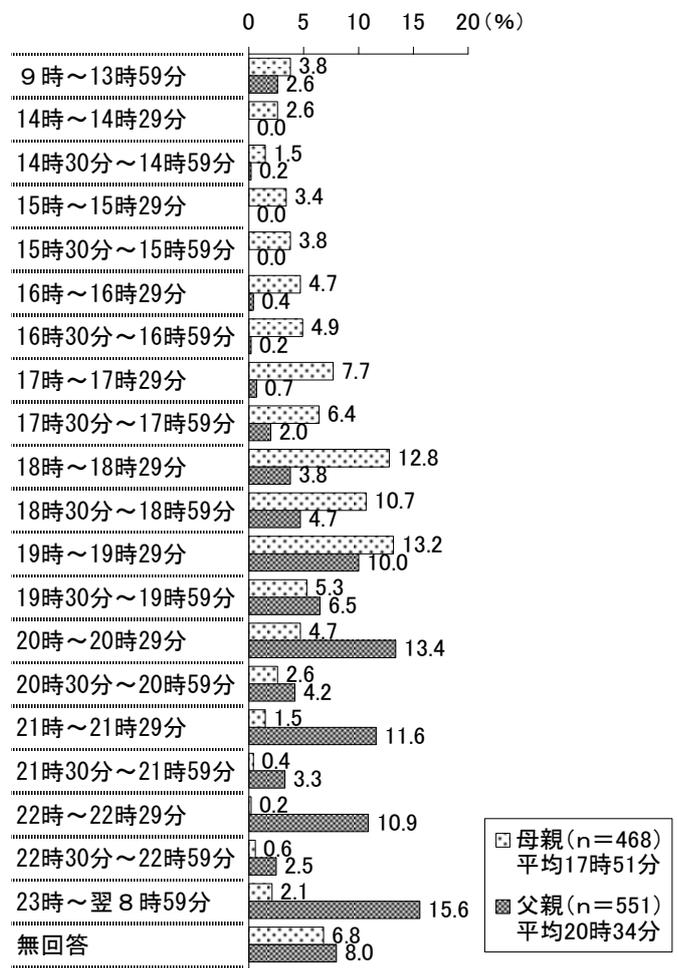


図3-6 帰宅時間



(2) 現在パートタイムで就労している人の今後の就労意向

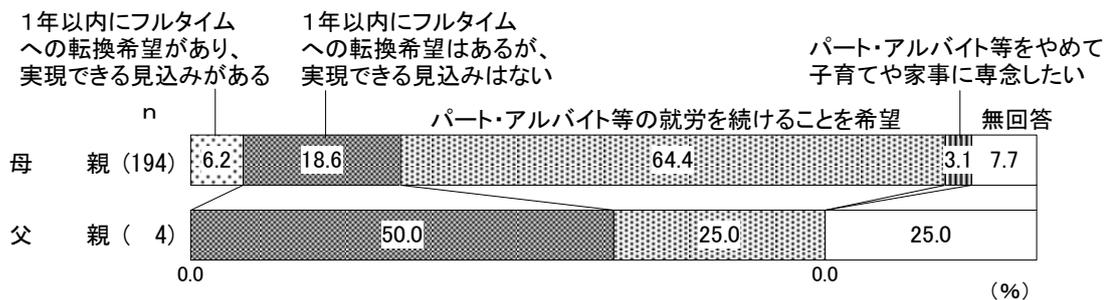
母親で「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が64.4%

現在パートタイムで就労している人の今後の就労意向については、母親では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が64.4%であった。「1年以内にフルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が6.2%、「1年以内にフルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が18.6%となっており、フルタイムへの転換希望がある母親は合わせて24.8%であった。

父親については、対象が4名と少ないため、参考までに図示する。(図3-7)

問15 「パート・アルバイト等で就労している」方にうかがいます。フルタイム勤務への転換希望はありますか。(母親・父親ごとに回答)

図3-7



(3) 現在就労していない人の今後の就労意向

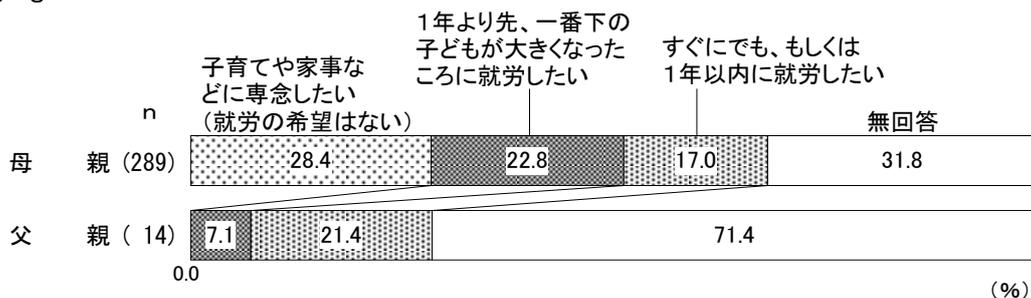
就労希望がある母親は39.8%

現在就労していない人の今後の就労意向については、母親では、「1年より先、一番下の子どもが大きくなったところに就労したい」が22.8%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が17.0%となっており、就労希望がある母親は合わせて39.8%であった。「子育てや家事などに専念したい(就労の希望はない)」は28.4%であった。

父親では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が21.4%、「1年より先、一番下の子どもが大きくなったところに就労したい」が7.1%であった。(図3-8)

問16 「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけ、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方は、「希望する就労形態」もお答えください。(母親・父親ごとに回答)(○はひとつ)

図3-8



「1年より先、一番下の子どもが大きくなったところに就労したい」を選んだ人が、子どもが何歳になったところ就労したいかについては、母親では、「12～14歳になったところ」が30.3%で最も多く、次いで「7歳になったところ」と「9～11歳になったところ」がともに15.2%などの順であった。

父親については、対象が1名と少ないため割愛する。(図3-9)

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ人の希望する就労形態については、母親では、「パートタイム、アルバイト等」が91.8%、「フルタイム」は8.2%であった。

父親については、対象が3名と少ないため割愛する。(図3-10)

図3-9 子どもが何歳になったところ就労したいか【母親】

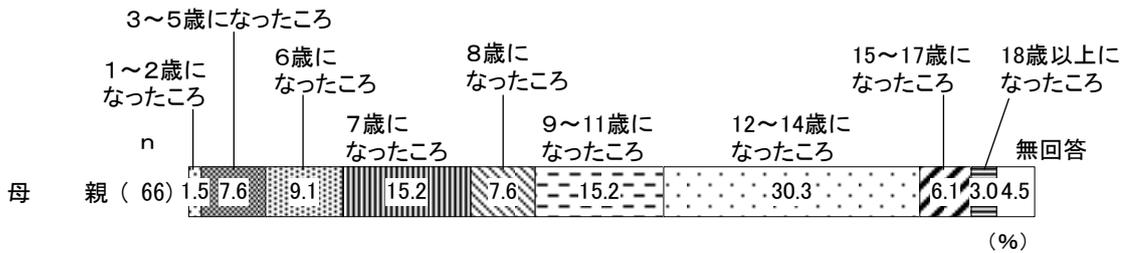
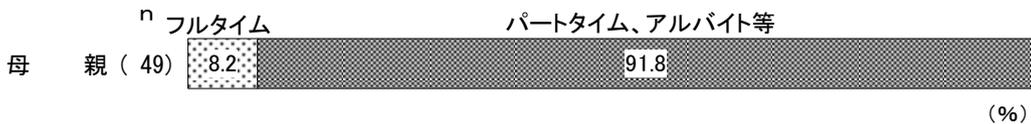


図3-10 希望する就労形態【母親】



希望する就労形態で「パートタイム、アルバイト等」を選んだ人の、希望する1週当たりの勤務日数については、母親では、「週3日」が62.2%で最も多く、次いで「週4日」が15.6%、「週2日」が11.1%、「週5日」が8.9%であった。

父親については、対象が2名と少ないため割愛する。(図3-11)

希望する就労形態で「パートタイム、アルバイト等」を選んだ人の、希望する1日当たりの就労時間については、母親では、「1日5時間～6時間未満」が42.2%で最も多く、次いで「1日6時間～7時間未満」が20.0%、「1日5時間未満」が28.9%などの順であった。

父親については、対象が2名と少ないため割愛する。(図3-12)

図3-11 希望するパートタイムの1週当たりの勤務日数【母親】

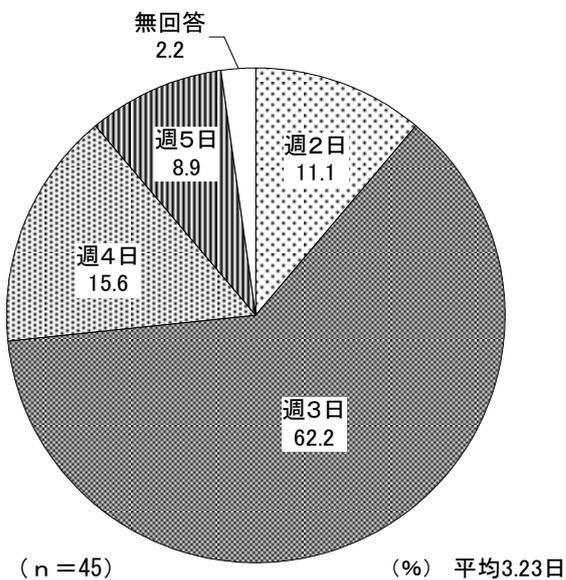
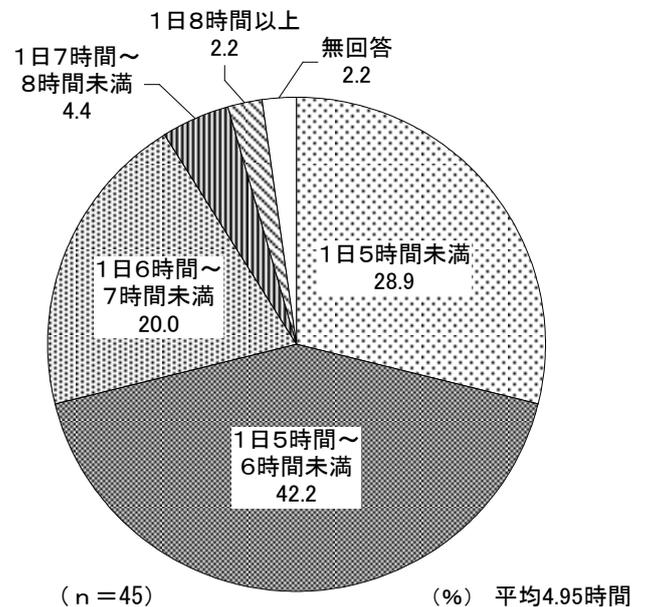


図3-12 希望するパートタイムの1日当たりの時間【母親】



4 地域子育て支援事業の利用状況

(1) 千代田区の地域子育て支援事業の認知度、利用状況、利用希望

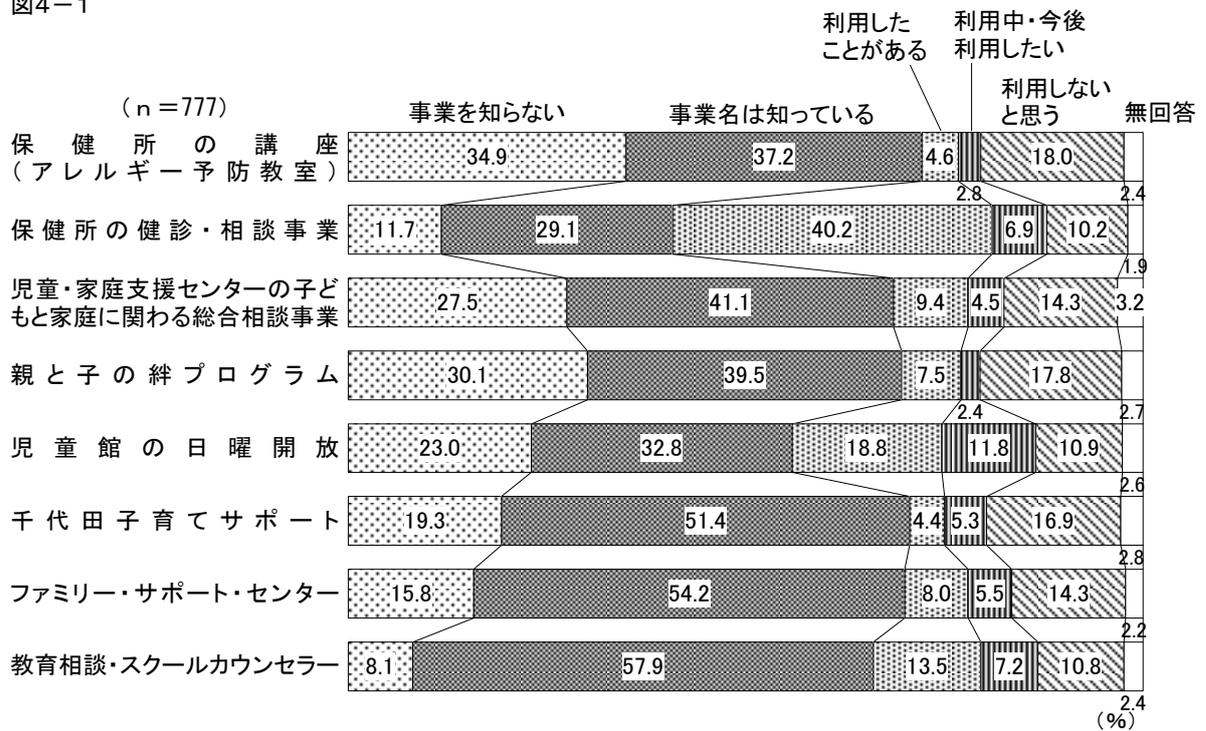
「事業名は知っている」は教育相談・スクールカウンセラーで57.9%、

「利用したことがある」は保健所の健診・相談事業で40.2%

千代田区の地域子育て支援事業の認知度、利用状況、利用希望については、「事業名は知っている」は教育相談・スクールカウンセラーで57.9%、ファミリー・サポート・センターで54.2%と多くなっている。「利用したことがある」は保健所の健診・相談事業で40.2%と多くなっている。「事業を知らない」は保健所の講座（アレルギー予防教室）で34.9%、親と子の絆プログラムで30.1%と多くなっている。（図4-1）

問17 子育て支援事業について、実際に利用されているか、または、利用希望などをうかがいます。当てはまると思う番号に“○”をつけてください。

図4-1



5 子どもが病気の際の対応

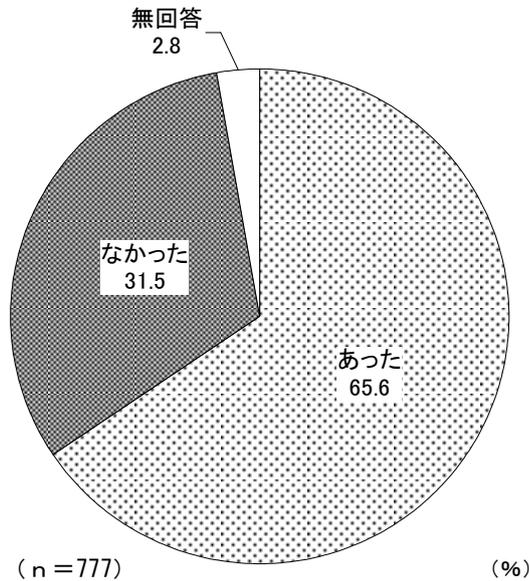
(1) 子どもが病気・けがのために学校を休んだ経験

子どもが病気・けがのために学校を休んだ経験については、「あった」が65.6%、「なかった」は31.5%であった。

(図5-1)

問18 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。

図5-1



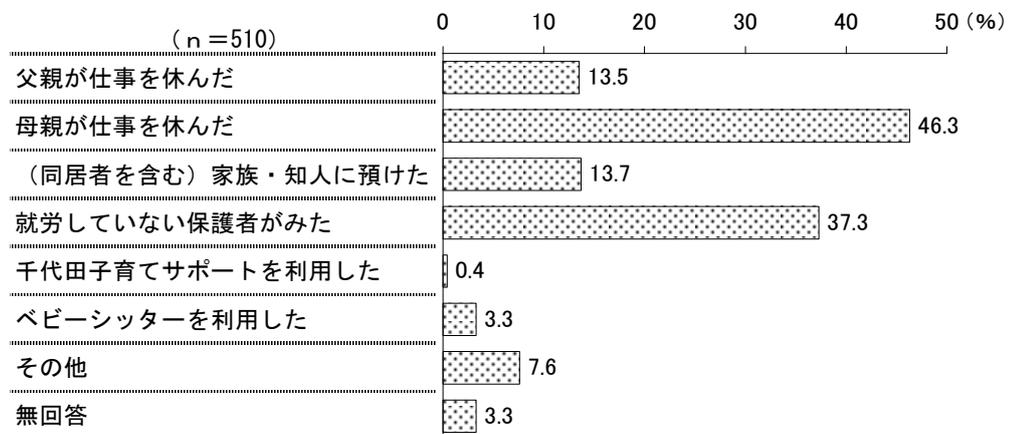
(1-1) 子どもが学校を休んだときの対応

「母親が仕事を休んだ」が46.3%

子どもが学校を休んだときの対応については、「母親が仕事を休んだ」が46.3%で最も多く、次いで「就労していない保護者がみた」が37.3%、「(同居者を含む) 家族・知人に預けた」が13.7%などの順であった。(図5-2)

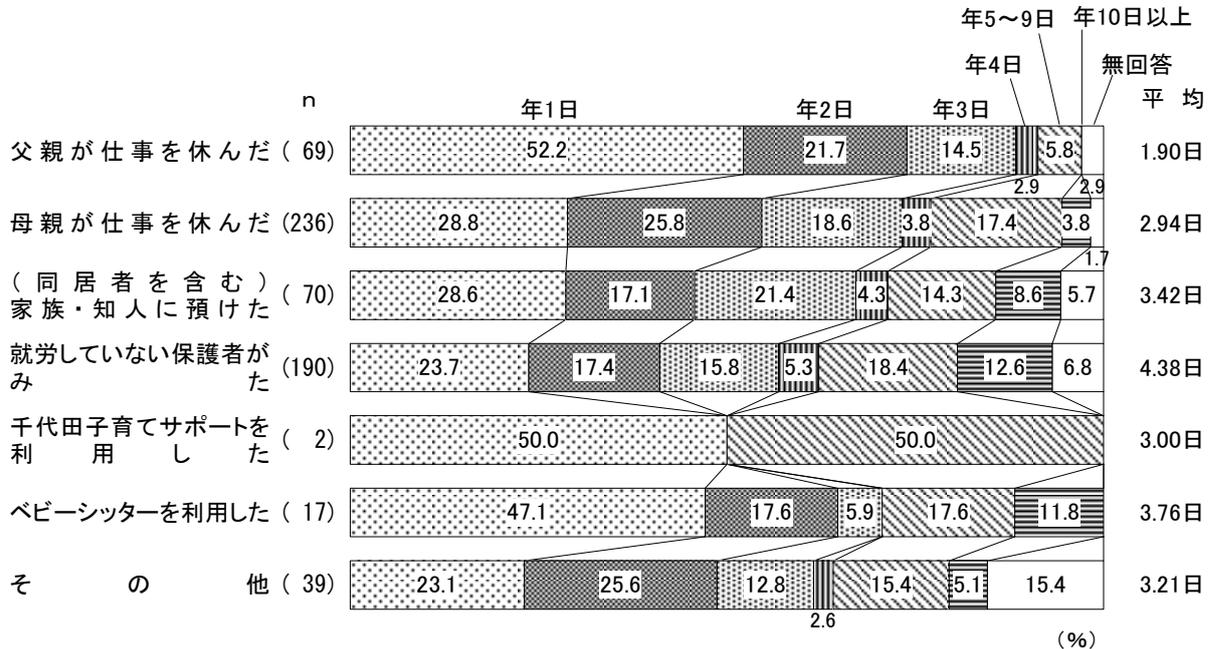
問18-1 問18で「あった」と回答した方にお聞きします。その対応と(○はいくつでも)、おおよその日数をご記入ください。

図5-2 子どもが学校を休んだときの対応



子どもが学校を休んだときの対応日数については、「年1日」は“父親が仕事を休んだ”で52.2%、“ベビーシッターを利用した”で47.1%と多くなっている。(図5-3)

図5-3 子どもが学校を休んだときの対応日数



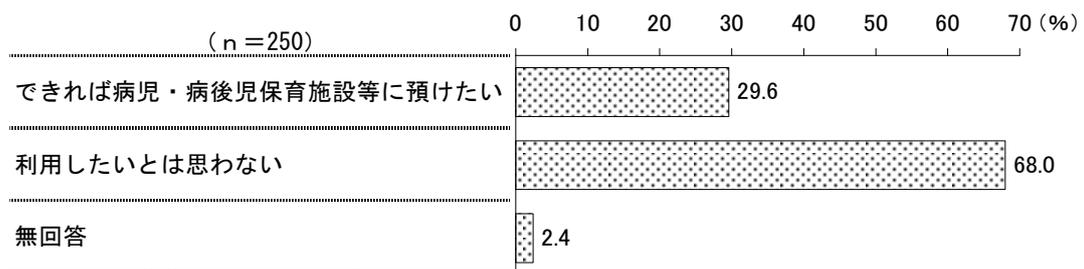
(1-2) 病児・病後児のための保育サービスを利用したいと思ったか

「できれば病児・病後児保育施設等に預けたい」は29.6%

病児・病後児のための保育サービスを利用したいと思ったかについては、「できれば病児・病後児保育施設等に預けたい」は29.6%、「利用したいとは思わない」が68.0%であった。(図5-4)

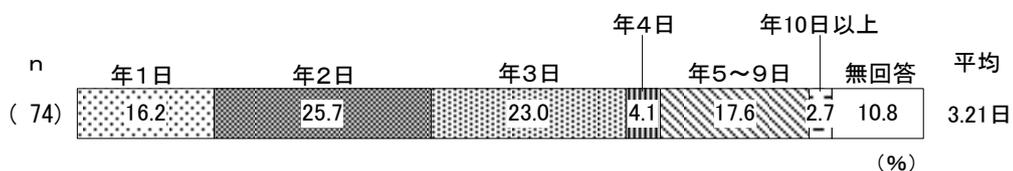
問19 問18-1で「父親が仕事を休んだ」「母親が仕事を休んだ」方にうかがいます。「できれば病児・病後児のための施設等に預けたい」と思いましたか。当てはまる番号に○をつけ、日数もご記入ください。

図5-4 病児・病後児のための保育サービスを利用したいと思ったか



病児・病後児のための保育サービスを利用したいと思った日数については、「年2日」が25.7%で最も多く、次いで「年3日」が23.0%、「年5~9日」が17.6%などの順であった。(図5-5)

図5-5 病児・病後児のための保育サービスを利用したいと思った日数



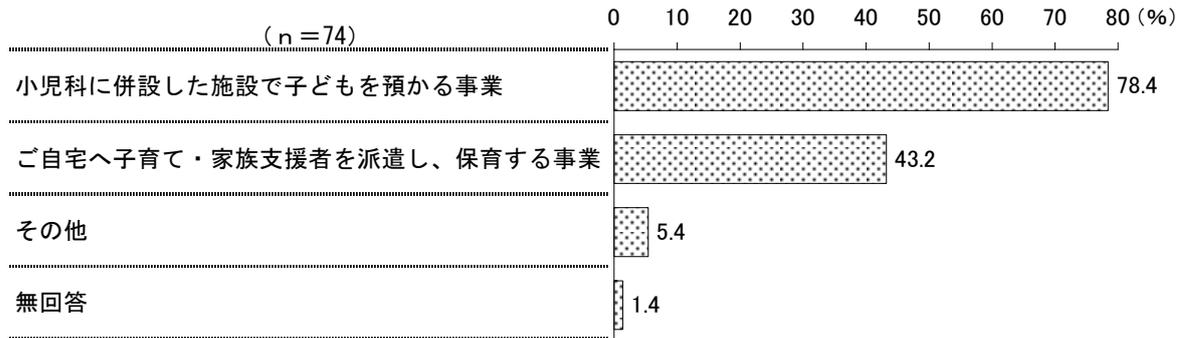
(1-2-1) 利用したいと思うサービスの形態

「小児科に併設した施設で子どもを預かる事業」が78.4%

利用したいと思うサービスの形態については、「小児科に併設した施設で子どもを預かる事業」が78.4%、「ご自宅へ子育て・家族支援者を派遣し、保育する事業」が43.2%であった。(図5-6)

問19-1 「できれば病児・病後児施設等」として下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
(○はいくつでも)

図5-6



(1-2-2) 利用しようと思わない理由

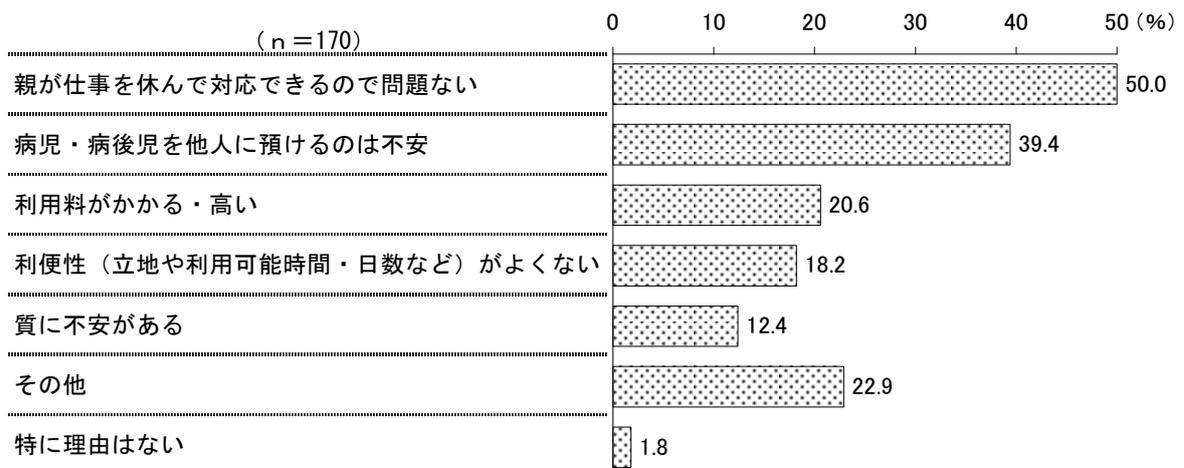
「親が仕事を休んで対応できるので問題ない」が50.0%

利用しようと思わない理由については、「親が仕事を休んで対応できるので問題ない」が50.0%で最も多く、次いで「病児・病後児を他人に預けるのは不安」が39.4%、「利用料がかかる・高い」が20.6%などの順であった。

(図5-7)

問19-2 問19で「利用したいと思わない」理由として、当てはまる番号に○をつけてください。
(○はいくつでも)

図5-7



(1-3) 父親・母親が仕事を休んで看病したいと思ったか

「休んで見ることは非常に難しい」が31.9%

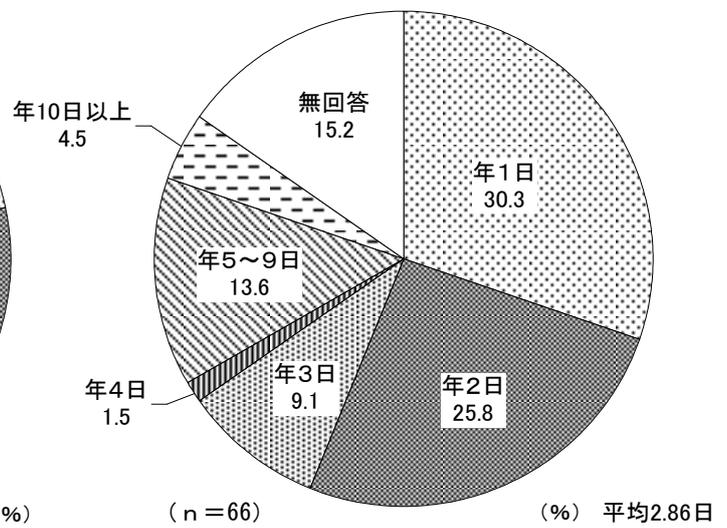
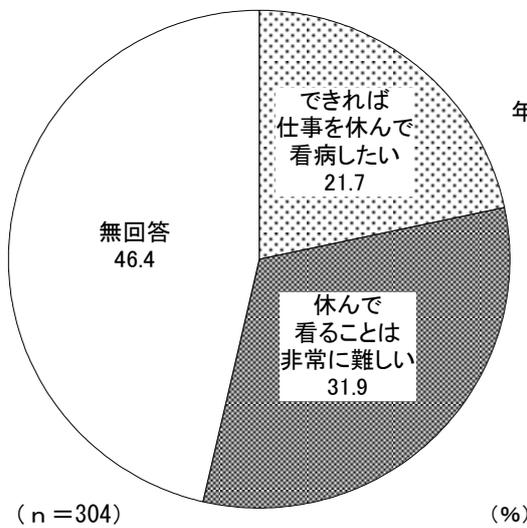
父親・母親が仕事を休んで看病したいと思ったかについては、「できれば仕事を休んで看病したい」は21.7%、「休んで見ることは非常に難しい」が31.9%であった。(図5-8)

仕事を休んで看病したいと思った日数については、「年1日」が30.3%で最も多く、次いで「年2日」が25.8%、「年5～9日」が13.6%などの順であった。(図5-9)

問19-3 問18-1で「家族・知人に預けた」「就労していない保護者がみた」「千代田子育てサポートを利用した」「ベビーシッターを利用した」「その他」のいずれかに回答した方にうかがいます。「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看病したい」と思われましたか。「家族・知人に預けた」「就労していない保護者がみた」「千代田子育てサポートを利用した」「ベビーシッターを利用した」「その他」の日数のうち、仕事を休んで看病したかったおおよその日数についてもお書きください。

図5-8 父親・母親が仕事を休んで看病したいと思ったか

図5-9 仕事を休んで看病したいと思った日数



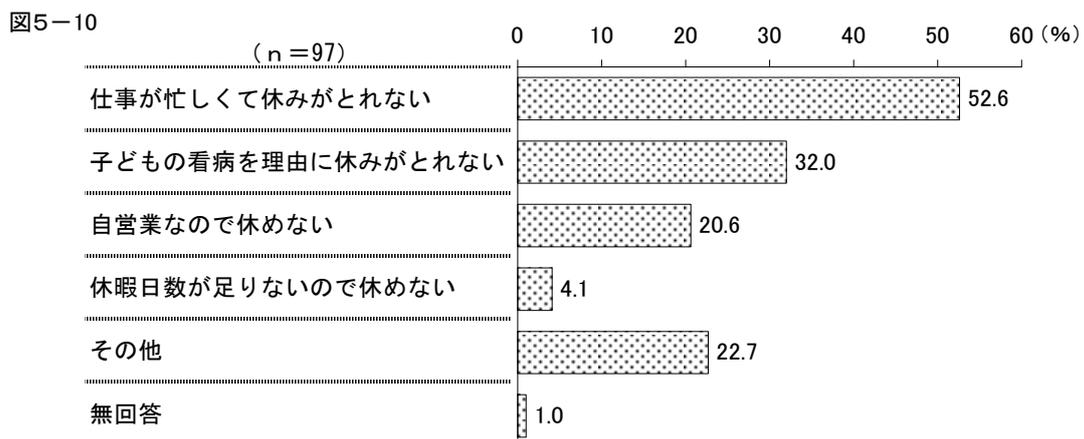
(1-3-1) 仕事を休んで看病することが難しい理由

「仕事が忙しくて休みがとれない」が52.6%

仕事を休んで看病することが難しい理由については、「仕事が忙しくて休みがとれない」が52.6%で最も多く、次いで「子どもの看病を理由に休みがとれない」が32.0%、「自営業なので休めない」が20.6%などの順であった。

(図5-10)

問19-4 問19-3で「休んで看病することは考えられない」理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)



6 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等について

(1) 現在不定期に利用している教育・保育事業

「利用していない」が89.8%

現在不定期に利用している教育・保育事業については、「利用していない」が89.8%で最も多くなっている。利用している中では、「ベビーシッター」が5.7%で最も多くなっている。(図6-1)

1年間の利用日数については、「年30日以上」は、ベビーシッターで43.2%と多くなっている。(図6-2)

問20 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で利用しているものはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数もお書きください。(○はいくつでも)

図6-1 現在不定期に利用している教育・保育事業

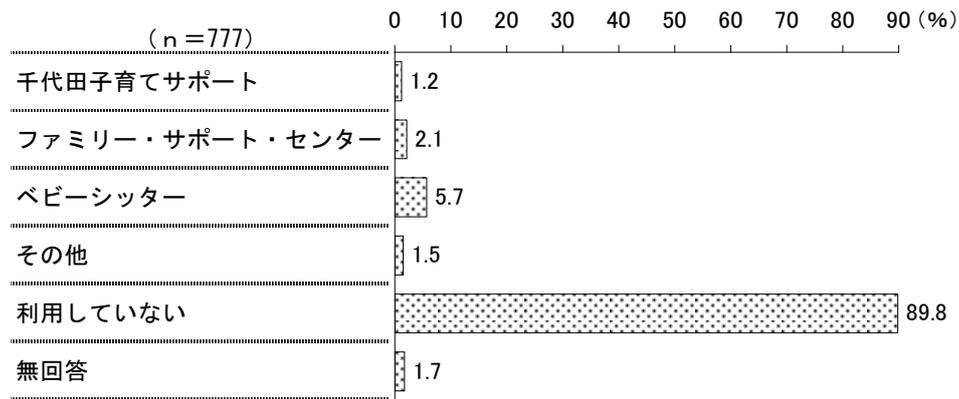
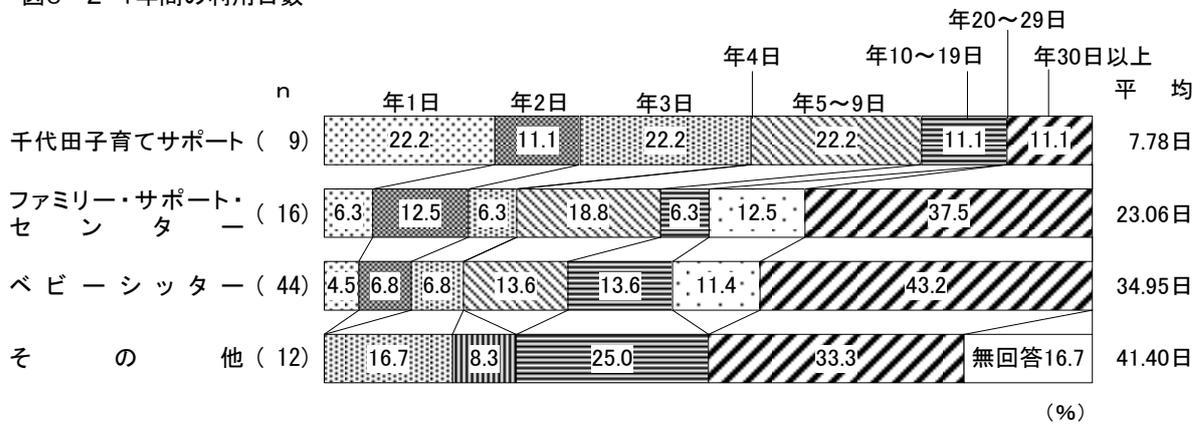


図6-2 1年間の利用日数



(1-1) 不定期の教育・保育事業を利用していない理由

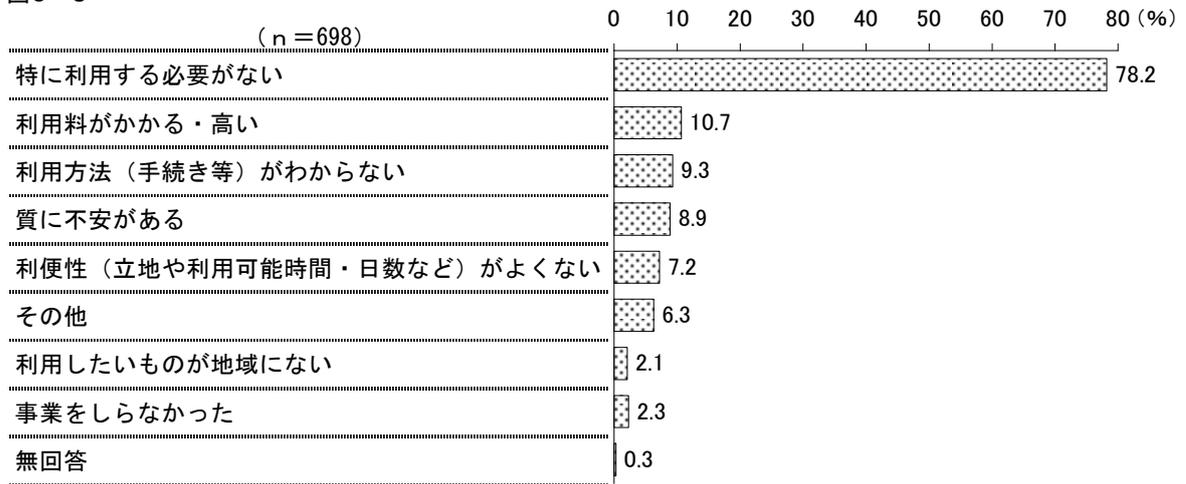
「特に利用する必要がない」が78.2%

不定期の教育・保育事業を利用していない理由については、「特に利用する必要がない」が78.2%で最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」が10.7%、「利用方法（手続き等）がわからない」が9.3%などの順であった。

(図6-3)

問20-1 問20で「利用していない」理由は何ですか。(〇はいくつでも)

図6-3



(2) 今後の不定期の教育・保育事業の利用希望

「利用したい」が83.3%

今後の不定期の教育・保育事業の利用希望については、「利用したい」が83.3%、「利用する必要はない」は10.6%であった。(図6-4)

利用希望日数については、「年30日以上」が47.3%で最も多く、次いで「年10～19日」が20.0%、「年5～9日」が9.1%などの順であった。(図6-5)

問21 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい利用する必要があると思いますか。

図6-4 今後の不定期の教育・保育事業の利用希望

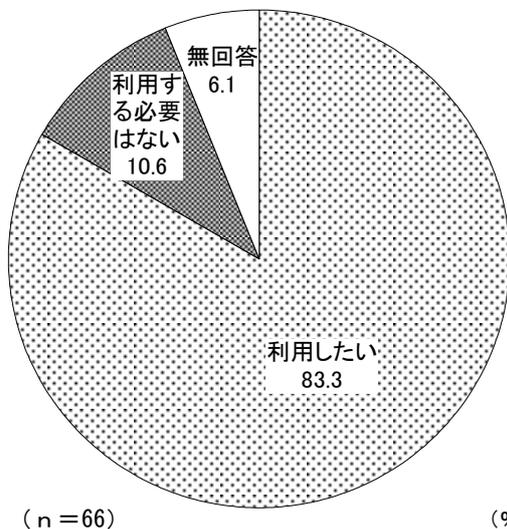
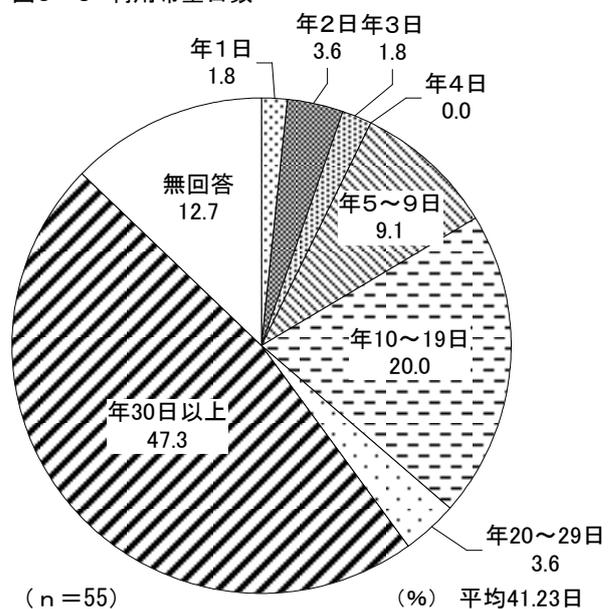


図6-5 利用希望日数



利用目的については、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が63.6%で最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）の親の通院等」が52.7%、「不定期の就労」が49.1%などの順であった。（図6-6）

利用目的別の必要日数については、「年30日以上」が不定期の就労で40.7%、私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的で28.6%と多くなっている。「年10～19日」が冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）の親の通院等で31.0%と多くなっている。（図6-7）

図6-6 利用目的

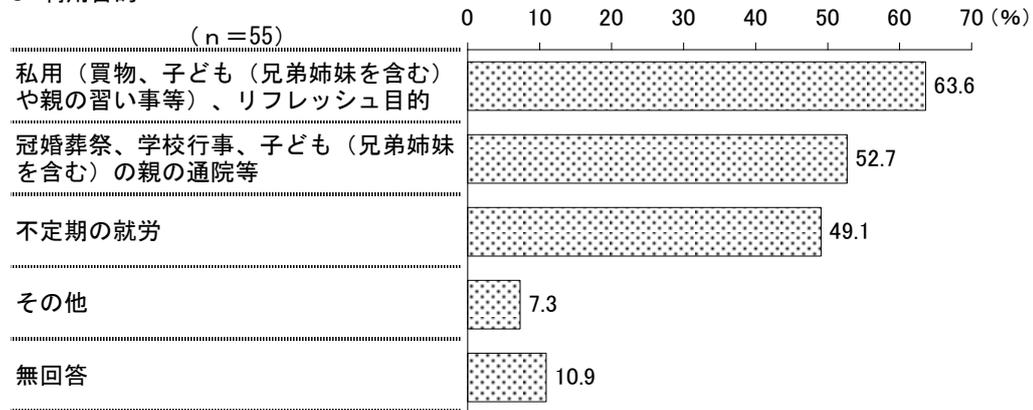
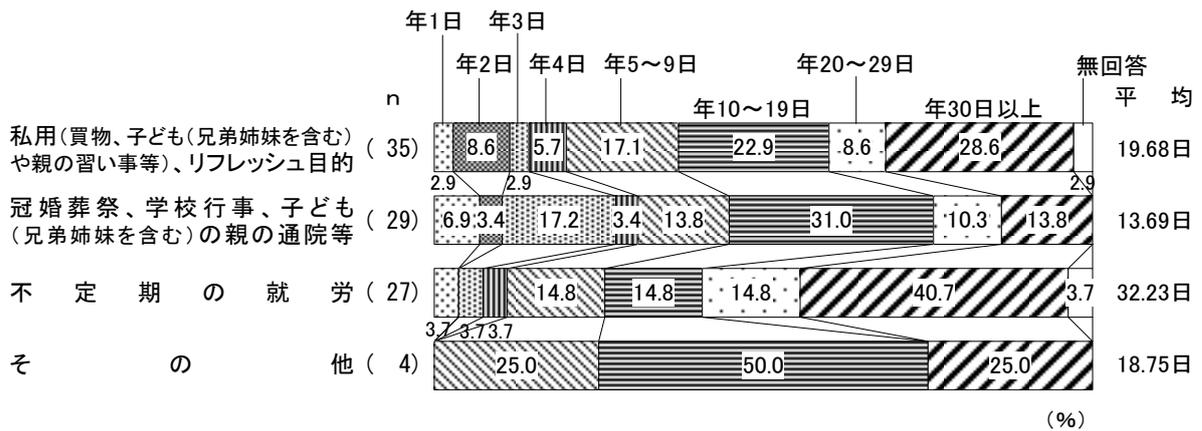


図6-7 利用目的別の必要日数



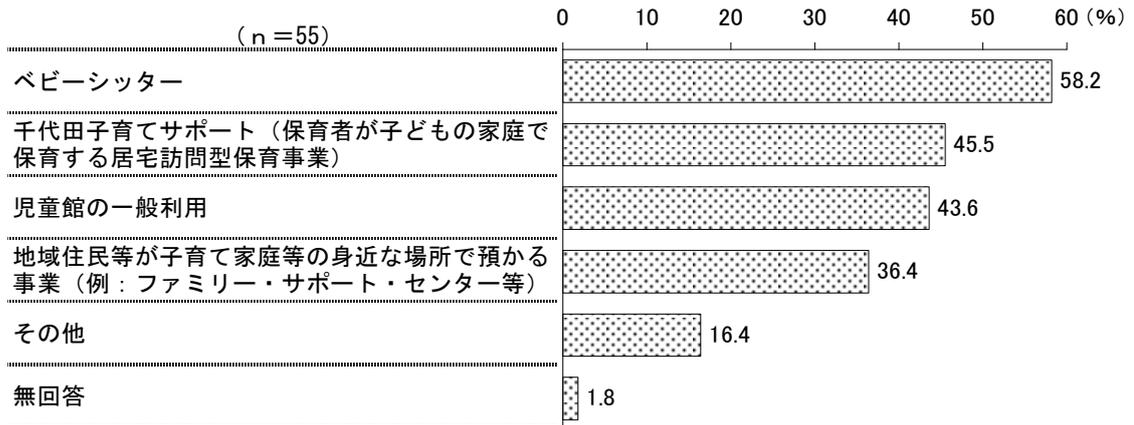
(2-1) 利用したいと思う不定期の教育・保育事業の形態

「ベビーシッター」が58.2%

利用したいと思う不定期の教育・保育事業の形態については、「ベビーシッター」が58.2%で最も多く、次いで「千代田子育てサポート（保育者が子どもの家庭で保育する居宅訪問型保育事業）」が45.5%、「児童館の一般利用」が43.6%などの順であった。（図6-8）

問21-1 私用、親の通院、不定期の就労等の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

図6-8



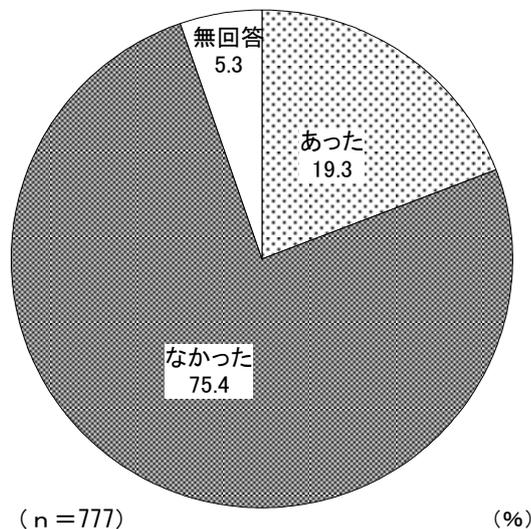
(3) 子どもを泊まりがけで預けなければならない経験の有無とそのときの対応

経験が「あった」は19.3%、そのときの対応は「(同居者を含む) 家族・知人に預けた」が93.3%

子どもを泊まりがけで預けなければならない経験の有無については、「あった」は19.3%、「なかった」が75.4%であった。（図6-9）

問22 この1年間に、保護者の用事により、お子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。「あった」場合は、この1年間の対応として当てはまる記号すべてに○をつけ、おおよその日数もお書きください。

図6-9 子どもを泊まりがけで預けなければならない経験の有無



子どもを泊まりがけで預けなければならないときの対応については、「(同居者を含む) 家族・知人に預けた」が93.3%で最も多くなっている。(図6-10)

子どもを泊まりがけで預けなければならない日数については、「(同居者を含む) 家族・知人に預けた」では、「年1泊」が21.4%で最も多く、次いで「年2泊」が18.6%などの順であった。(図6-11)

図6-10 子どもを泊まりがけで預けなければならないときの対応

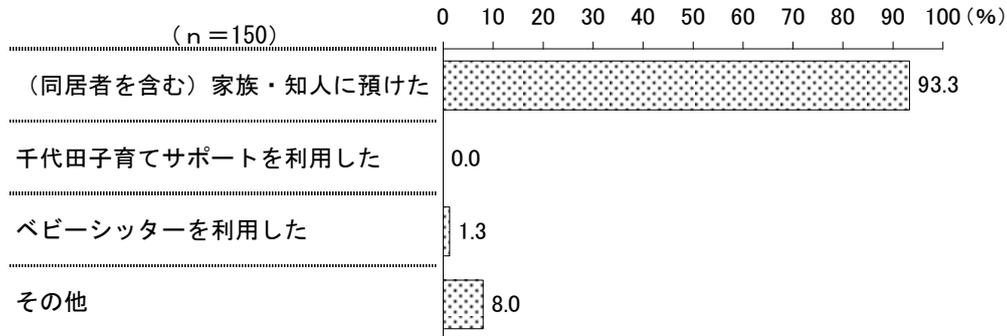
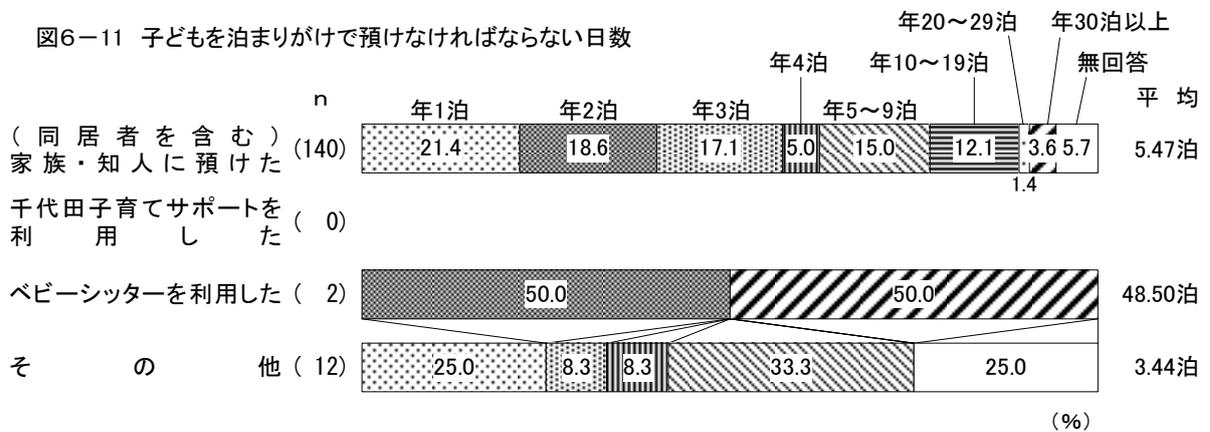


図6-11 子どもを泊まりがけで預けなければならない日数



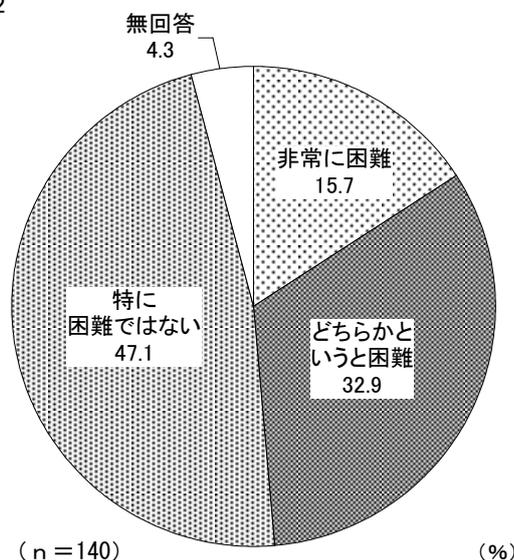
(3-1) 子どもを泊まりがけで家族・知人に預けたときの困難度

『困難』が48.6%

子どもを泊まりがけで家族・知人に預けたときの困難度については、「非常に困難」(15.7%)と「どちらかという困難」(32.9%)を合わせた『困難』が48.6%であった。「特に困難ではない」は47.1%であった。(図6-12)

問22-1 問22で「あった」「(同居者を含む) 家族・知人に預けた」と答えた方にうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。(○はひとつ)

図6-12



7 子どもの放課後の過ごし方

(1) 放課後の過ごし方

「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が66.7%

放課後の過ごし方については、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が66.7%で最も多く、次いで「自宅」が56.1%、「学童クラブ」が22.7%などの順であった。（図7-1）

地域別にみると、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」は麴町が69.4%で多く、「自宅」は麴町が57.9%であった。「児童館」は神田が16.5%で麴町12.1%より多かった。（表7-1）

問23 お子さんは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号に○をつけ、週当たりのおおよその日数を数字でお書きください（○はいくつでも）。また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も数字でお書きください。

図7-1 放課後の過ごし方

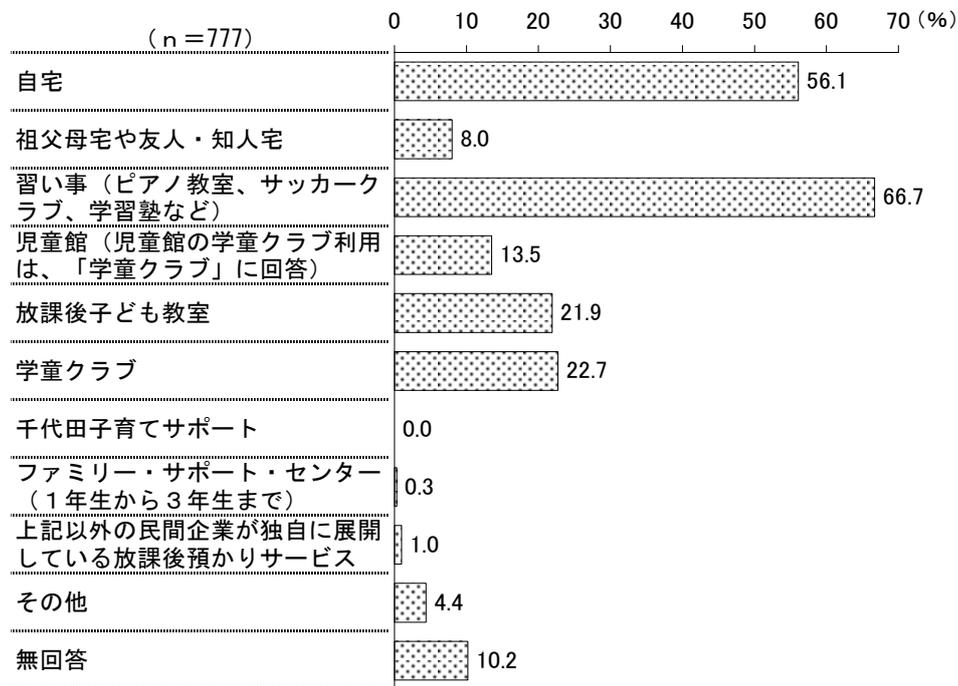


表7-1 放課後の過ごし方—地域別

上段：件数、下段：%

	n	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	塾など	習い事（ピアノ教室、学習塾など）	児童館（児童館の学童クラブ利用は、「学童クラブ」に回答）	放課後子ども教室	学童クラブ	千代田子育てサポート	から3年生まで）	ファミリー・サポート・センター（1年生から3年生まで）	放課後預かりサービス	独自の民間企業が展開している	その他	無回答									
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数								
全体	777	436	62	518	105	170	176	-	2	8	34	79	100.0	56.1	8.0	66.7	13.5	21.9	22.7	-	0.3	1.0	4.4	10.2
麴町	527	305	37	366	64	120	119	-	2	6	24	49	100.0	57.9	7.0	69.4	12.1	22.8	22.6	-	0.4	1.1	4.6	9.3
神田	243	129	23	149	40	47	56	-	-	2	8	29	100.0	53.1	9.5	61.3	16.5	23.0	-	-	0.8	3.3	11.9	

希望する週当たりの日数については、「週5日くらい」は学童クラブで51.7%と多くなっている。「週1日くらい」は祖父母宅や友人・知人宅で48.4%と多くなっている。(図7-2)

学童クラブの利用希望時間については、「17時台」が40.9%で最も多く、次いで「19時台」が29.0%などの順であった。(図7-3)

図7-2 希望する週当たりの日数

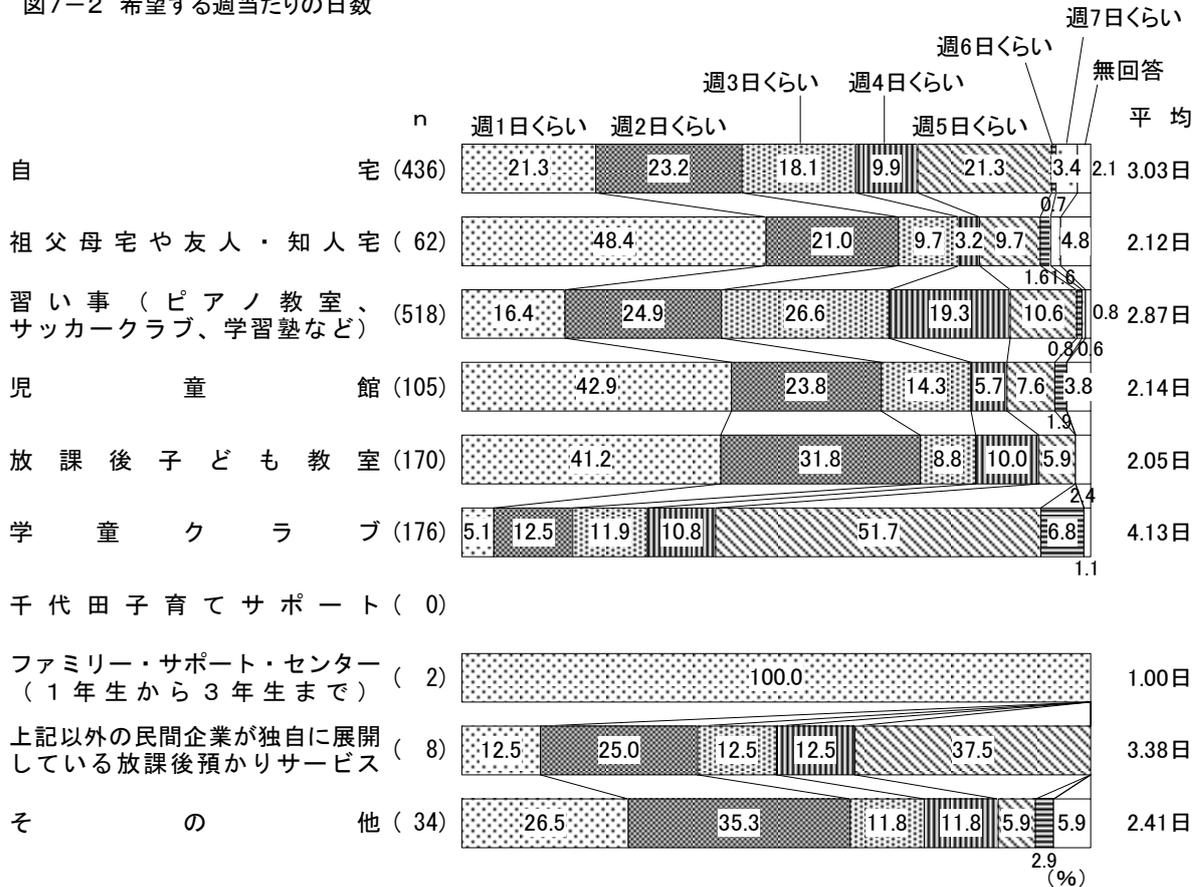
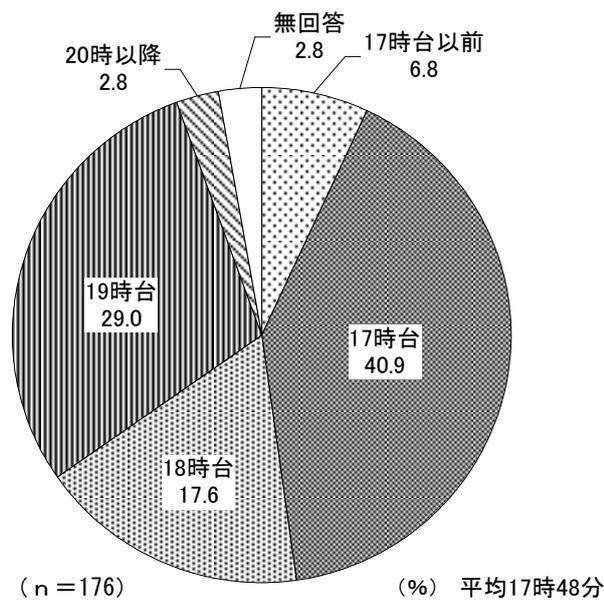


図7-3 学童クラブの利用希望時間



(2) 放課後子ども教室の土曜日、日曜日・祝日の利用希望

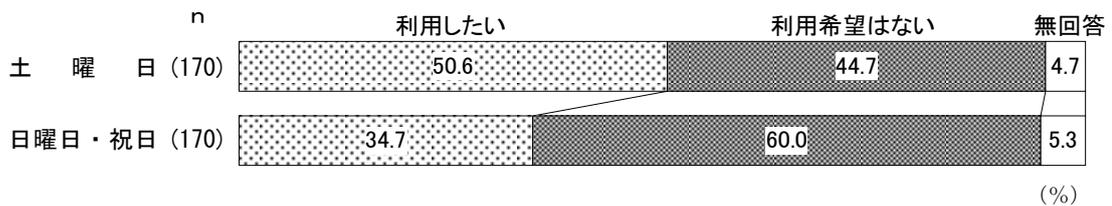
「利用したい」が土曜日で50.6%、日曜日・祝日で34.7%

放課後子ども教室の土曜日、日曜日・祝日の利用希望については、土曜日では、「利用したい」が50.6%、「利用希望はない」は44.7%であった。

日曜日・祝日では、「利用したい」は34.7%、「利用希望はない」が60.0%であった。(図7-4)

問23-1 問23で「放課後子ども教室」に○をつけた方にかがいます。土曜日、日曜日・祝日について、放課後子ども教室の利用希望はありますか。現在、土日祝日は実施していませんが、こうした曜日の利用希望をかがいます。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)また「利用したい」を選んだ時は、利用したい時間帯をご記入ください。

図7-4 放課後子ども教室の土曜日、日曜日・祝日の利用希望



利用したい開始時間帯については、「9時台」が土曜日で66.3%、日曜日・祝日で57.6%と多くなっている。

(図7-5)

利用したい終了時間帯については、「17時台」が土曜日で37.2%、日曜日・祝日で42.4%と多くなっている。

(図7-6)

図7-5 利用したい開始時間帯

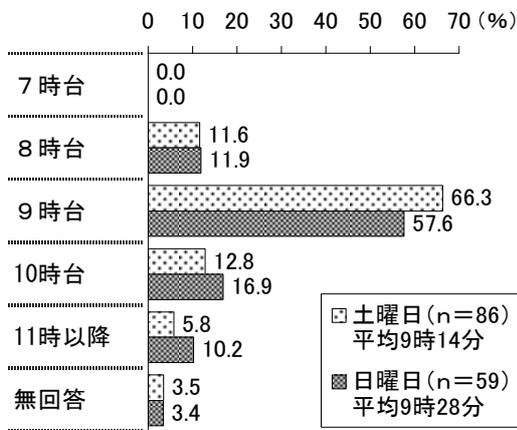
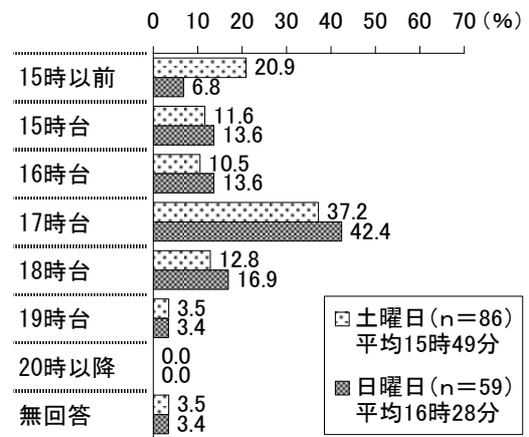


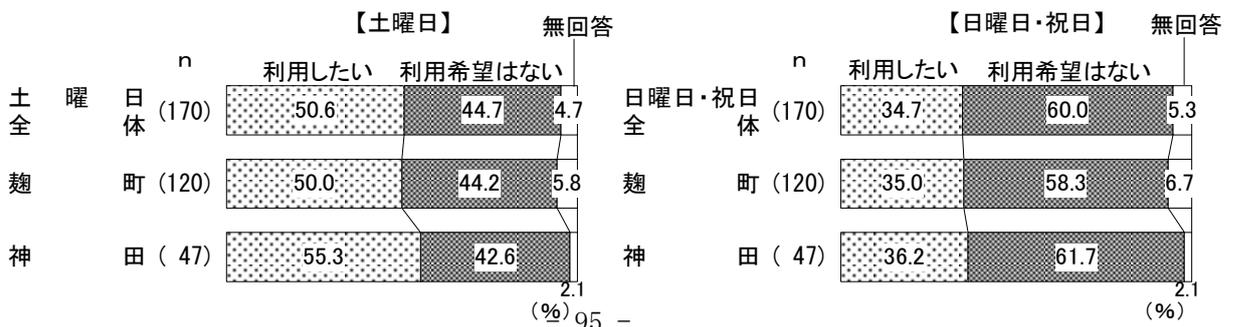
図7-6 利用したい終了時間帯



土曜日の利用希望を地域別にみると、「利用したい」は神田55.3%、麴町50.0%であった。「利用希望はない」は麴町44.2%、神田42.6%であった。

日曜日・祝日の利用希望を地域別にみると、「利用したい」は神田36.2%、麴町35.0%であった。「利用希望はない」は神田61.7%、麴町58.3%であった。(図7-7)

図7-7 放課後子ども教室の土曜日、日曜日・祝日の利用希望—地域別



(3) 放課後子ども教室の学校休業期間の利用希望

「利用したい」が81.2%

放課後子ども教室の学校休業期間の利用希望については、「利用したい」が81.2%、「利用希望はない」は17.1%であった。(図7-8)

問23-2 問23で「放課後子ども教室」に○をつけた方にうかがいます。夏休み等長期学校休暇中について、放課後子ども教室の利用希望はありますか。現在、夏休みなどの長期学校休暇期間中は実施していませんが、こうした期間の利用希望をうかがいます。当てはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)また利用したい時間帯をご記入ください。

図7-8 放課後子ども教室の学校休業期間の利用希望



利用したい開始時間帯については、「9時台」が63.8%、「8時台」が18.8%と多くなっている。(図7-9)
 利用したい終了時間帯については、「17時台」が40.6%、「15時以前」が18.1%と多くなっている。(図7-10)

図7-9 利用したい開始時間帯

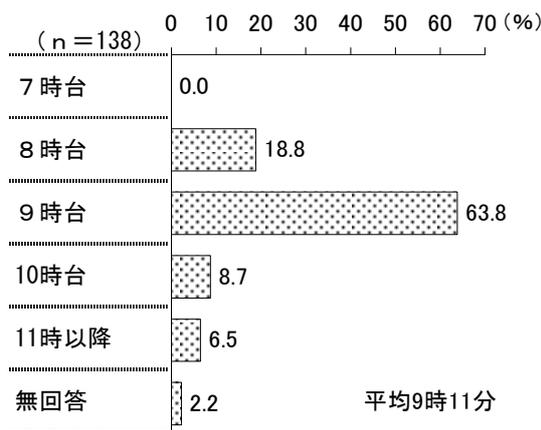
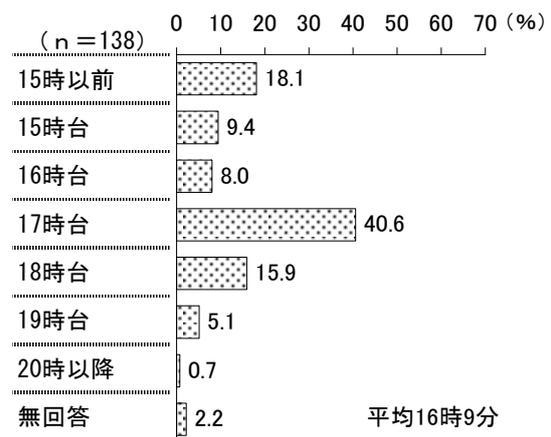
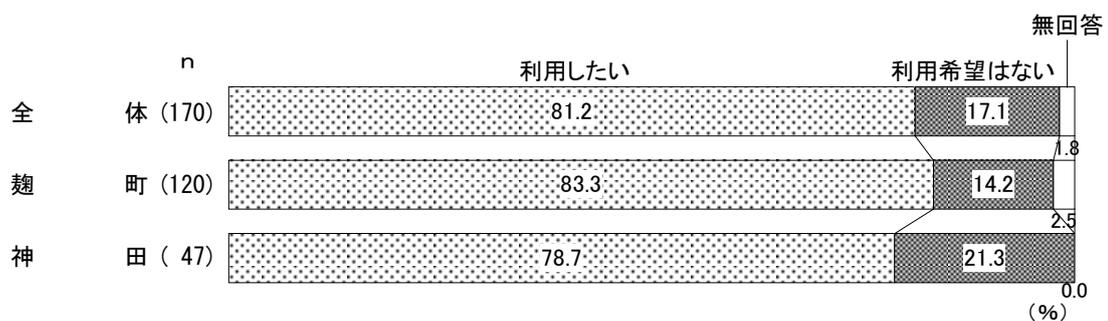


図7-10 利用したい終了時間帯



放課後子ども教室の学校休業期間中の利用希望を地域別にみると、「利用したい」は麴町83.3%、神田78.7%であった。「利用希望はない」は神田21.3%、麴町14.3%であった。(図7-11)

図7-11 放課後子ども教室の学校休業期間の利用希望—地域別



(4) 学童クラブの土曜日、日曜日・祝日の利用希望

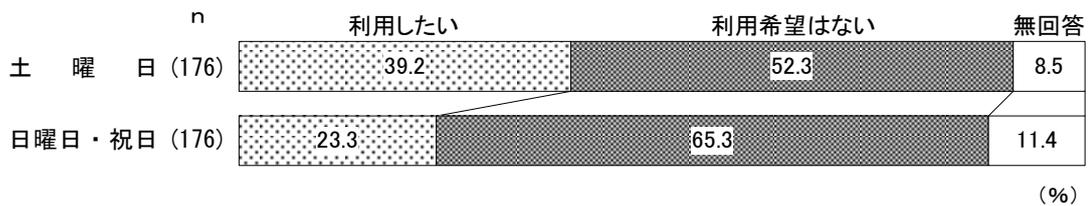
「利用したい」は土曜日で39.2%、日曜日・祝日で23.3%

学童クラブの土曜日、日曜日・祝日の利用希望については、土曜日では、「利用したい」が39.2%、「利用希望はない」が52.3%であった。

日曜日・祝日では、「利用したい」は23.3%、「利用希望はない」が65.3%であった。(図7-12)

問23-3 問23で「学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。土曜日、日曜日・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。現在、日曜・祝日は学童クラブを実施していませんが、こうした曜日の利用希望をうかがいます。また、利用する場合には、一定の利用料がかかるとお考えください。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)また利用したい時間帯を、ご記入ください。

図7-12 学童クラブの土曜日、日曜日・祝日の利用希望



利用したい開始時間帯については、「9時台」が土曜日で43.5%、日曜日・祝日で46.3%、「8時台」が土曜日で37.7%、日曜日・祝日で26.8%と多くなっている。(図7-13)

利用したい終了時間帯については、土曜日では、「17時台」が27.5%で最も多く、次いで「18時台」が26.1%などと続いている。日曜日・祝日では、「18時台」が24.4%で最も多く、次いで「17時台」が22.0%などと続いている。

(図7-14)

図7-13 利用したい開始時間帯

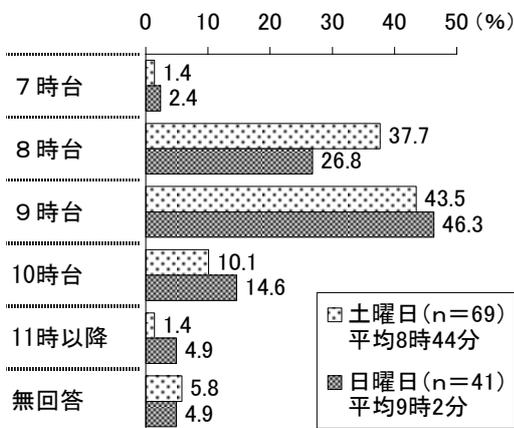
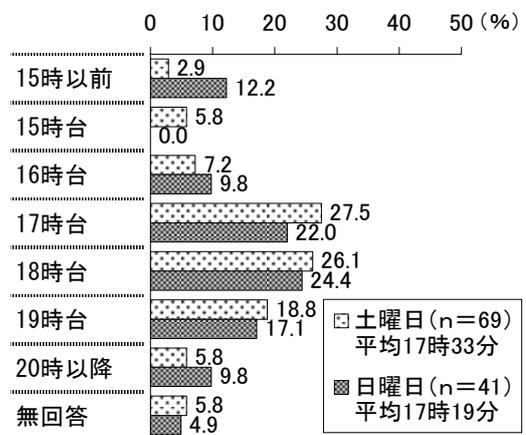


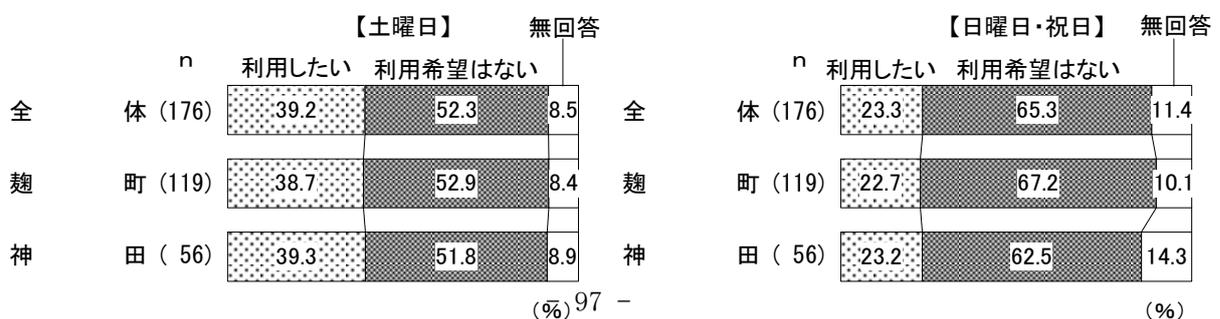
図7-14 利用したい終了時間帯



土曜日の利用希望を地域別にみると、「利用したい」は神田39.3%、麴町38.7%であった。「利用希望はない」は麴町52.9%、神田51.8%であった。

日曜日・祝日の利用希望を地域別にみると、「利用したい」は神田23.2%、麴町22.7%であった。「利用希望はない」は麴町67.2%、神田62.5%であった。(図7-15)

図7-15 学童クラブの土曜日、日曜日・祝日の利用希望—地域別



(5) 学童クラブの学校休業期間の利用希望

「利用したい」が32.9%

学童クラブの学校休業期間の利用希望については、「利用したい」が32.9%、「利用希望はない」は32.7%であった。(図7-16)

問23-4 夏休みなどの長期学校休暇期間中の学童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)また利用したい時間帯をお書きください。利用には、一定の利用料がかかるものとお考えください。

図7-16 学童クラブの学校休業期間の利用希望



利用したい開始時間帯については、「8時台」が43.8%、「9時台」が43.0%と多くなっている。(図7-17)
 利用したい終了時間帯については、「17時台」が32.8%、「18時台」と「19時台」がともに21.5%と多くなっている。(図7-18)

図7-17 利用したい開始時間帯

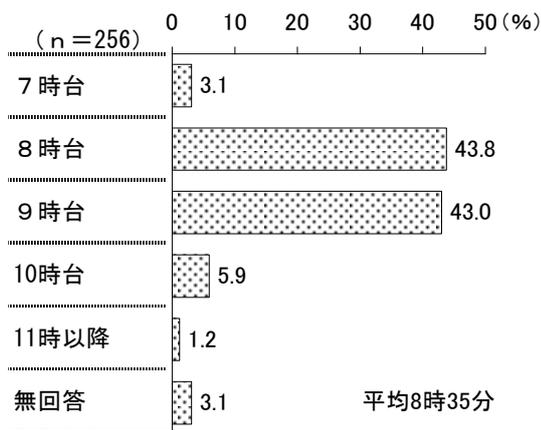
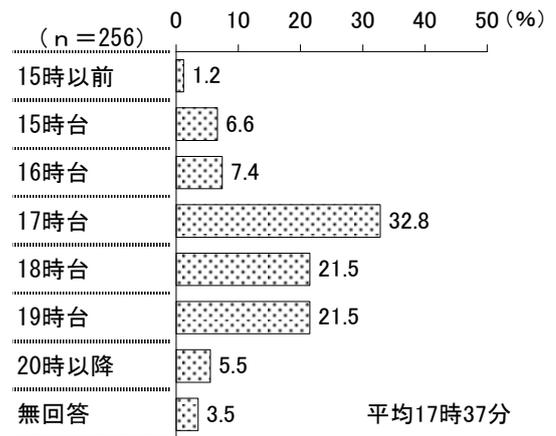
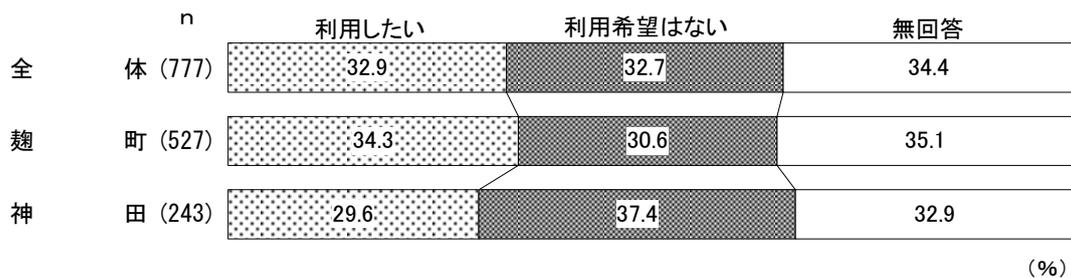


図7-18 利用したい終了時間帯



学校休業期間中の利用希望を地域別にみると、「利用したい」は麴町34.3%、神田29.6%であった。「利用希望はない」は神田37.4%、麴町30.6%であった。(図7-19)

図7-19 学童クラブの学校休業期間の利用希望—地域別



(6) 子どもが放課後を過ごす場所として重視したいこと

「スタッフ（職員等）が十分配置されていること」が66.8%

子どもが放課後を過ごす場所として重視したいことについては、「スタッフ（職員等）が十分配置されていること」が66.8%で最も多く、次いで「希望する時間に利用できること」が46.1%、「子どもがリラックスできる環境があること」が40.2%などの順であった。（図7-20）

問24 お子さんが放課後を過ごす場所として、特に重視したいと思うことは何ですか。（○は3つまで）

